

2 0 0 0

授業概要

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE

目次 (心理学科)

教養教育科目 (1年)

文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
西洋文学	6
近代日本の歴史	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	10
現代社会論	11
現代家族論	12
日本国憲法	13
市民生活と法	14
政治学入門	15
生活の経済学	16
マスコミュニケーション概論	17
現代社会と女性	18
自然科学史	19
生命の科学	20
生物と環境	21
生活の科学	22
健康の生理学	23
宇宙と地球	24
総合科目 人間	25~27
総合英語 I-1、2	28~31
海外語学研修	32
選択語学 I-1、2 英語	33~37
選択語学 I-1、2 独語	38
選択語学 I-1、2 仏語	39
スポーツA (テニス)	40
スポーツA (ダンス)	41
スポーツA (パレーボール)	42・43
スポーツA (バドミントン)	44
スポーツA (トランポリン)	45
健康科学	46
スポーツ科学	47

専門教育科目 (1年)

心理学概説	51
発達心理学 I	52
知覚心理学	53
学習心理学 I	54
学習心理学 II	55
人格心理学	56
生理心理学	57
基礎技法演習	58

心理学演習Ⅰ	59
心理学演習Ⅱ	60
心理学総合演習	61～64
心理統計Ⅰ	65・66
心理統計Ⅱ	67・68
情報処理Ⅰ	69・70
情報処理Ⅱ	71

司書科目（1年）

生涯学習概論	75
図書館概論	76
図書館経営論	77
情報検索演習	78
図書館資料論	79
資料組織概説	80
資料組織演習	81
児童サービス論	82
図書及び図書館史	83
情報機器論	84

特別選択科目（1年）

時事・社会特講	87
労働・健康特講	88
家庭介護総論	89
家庭介護演習	90
家庭介護実習	91

教養教育科目（2年）

総合英語Ⅱ-1、2	95～98
選択語学Ⅱ-1、2 英語	99・100
選択語学Ⅱ-1、2 独語	101
選択語学Ⅱ-1、2 仏語	102

専門教育科目（2年）

発達心理学Ⅱ	105
心理学研究演習・卒業研究	106～113
心理学研究法	114～123
社会心理学	124
性格心理学	125
精神生理学	126
心理検査法	127
カウンセリング	128
児童相談	129
心理療法	130
コミュニケーション論	131
非行の心理学	132

障害児心理学	133
健康心理学	134
心理学特講 I	135
心理学特講 II	136
精神保健	137
精神医学	138

司書科目 (2年)

図書館サービス論	141
情報サービス概説	142
レファレンスサービス演習	143
専門資料論	144
資料特論	145
コミュニケーション論	146
図書館特論	147

教養教育科目（1年）

【授業科目】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>小説・映画・ドラマの中の世界は、どこにあるのか。それは我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」である。この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標である。</p>	
【テキスト】 随時プリントを配布する。	
【参考書】 講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような流れで講義する。具体的作品等はプリントを使って紹介する。</p> <p>①「フィクション」について。</p> <p>例えば「小説」に書かれたことは、要するに全て「作り事」、つまり「嘘」である。映画もテレビドラマも同様である。しかしなぜ、我々はそんな「嘘」に感動したり、強い影響を受けたりするのか。――このような問題を考察する。</p> <p>②「作品世界」の構造（しくみ）について。</p> <p>「作品世界」つまり「もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのか。そもそも、それは誰が「見ている」世界なのか。語っているのは「誰」なのか。少なくともそれは、いわゆる「作者」ではないはずである（例えば川端康成は「駒子」を「見る」ことは出来ない）。――このような問題から考察を始める。</p> <p>③フィクションと「現実」について。</p> <p>小説・映画・ドラマは「現実ではない」というが、では「現実」とは何なのか。何が「フィクション」で、何が「フィクション」ではないのか、の問題を考察する。</p> <p>○日本とヨーロッパの近代文学作品を中心に、美術・音楽も視野に入れた講義になる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の古典の多くが、受験文法の説明に使われるのみで、内容が知られないのは残念なことです。優れた古典は作品としての主張を持っており、現代に通じるものを必ず持っています。そのおもしろさに気づくことが、第一の目標です。そして、何が、何故おもしろいのかを検討し、文学の本質について考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岩波文庫『竹取物語』</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>平安時代の『竹取物語』を取り上げます。姫はなぜ竹の中にいたのか。翁はどんな子育てをしたのか。で、姫は人間になったのか。なぜ月から追放され、よりによって人間界に来たのか。天皇を含む求婚者は、なぜ皆拒絶されたのか。知っているつもりのお物語は、実は謎がいっぱい。</p> <p>I 『竹取物語』の構成と主題について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな口承の話型（化生説話、致富説話、難題婚説話、羽衣説話、地名起源説話）を組み合わせて、物語は、書くことによって、ある主題を追求していくようです。上記の疑問を解明しながら、物語のおもしろさについて考えます。 <p>II さまざまな竹取説話を知る</p> <p>『竹取物語』以外にも、様々な竹取説話が伝わっています。今昔物語、海道記、古今集注、奈良絵本、現代の絵本などから、関係の部分を見ていき、平安『竹取物語』の特徴について、あらためて考えたいと思います。</p> <p>III 参考：＜浦島太郎＞の異界について</p> <p>古く『万葉集』『風土記』などに見える話が、平安時代の漢文作品を経て、やがて謡曲や御伽草子に取られていきます。もう一つの異界（海神の国）の話を覗いてみましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 話し言葉の文芸	【担当者】 東 喜望
----------------	------------

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

将来に資するために、口承文芸をとりあげます。
 初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。
 大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。

【テキスト】拙著『沖繩・奄美の説話と伝承』(おうふう・刊)
 他に資料プリント(配配布)。<スライド・ビデオ等の映像資料上映。>

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

講義の概要

I. はじめに — 「わが国をニッポン」というのはなぜか。

II. 口承文芸概説

- (1) 神話
- (2) 伝説
- (3) 昔話

III. 文芸の起源

- (1) 自然と人間と神
- (2) 「謡い」「語り」の発生
- (3) 信仰と説話 — 個人レベルから国家レベルへ
- (4) 神話の発展 — 昔話・伝説へ

【評価方法】 定期試験時の筆記試験。ただし、テキスト・ノート等参照可とする。

【授業科目】 西洋文学	【担当者】 衣川 清子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 本年度のテーマ：西洋文学が映画になるとき</p> <p>最近、映画化される西洋文学作品が多い。良質のストーリーを求めると優れた文学作品に行き着くため、優れた文学作品が文化的遺産として時代を超えて受け継がれているためであろう。一方、現代の視点と問題意識で作られた映画は、文学作品に新しい解釈をもたらすことがある。また映画化のたびに違った相貌を見せる作品もある。本講義では、比較的最近、映画化・公開された西洋文学作品を取り上げ、小説と映画との違いに着目しながら小説と映画それぞれの魅力を探る。</p>	
<p>【テキスト】 なし（プリント使用）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>毎回一つの文学作品とそれを映画化した作品を取り上げて講義し、映画の一部を視聴し、時代を経ても色褪せない文学の魅力のありかを考えたい。</p> <p>取り上げる予定の作品：</p> <p>ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』（1811年）；同映画（1995年）</p> <p>シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』（1847年）；同映画（1944年及び1996年）</p> <p>ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』（1595年）；同映画（1968年及び1996年）</p> <p>ナサニエル・ホーソーン『スカーレット・レター』（1850年）；同映画（1995年）</p> <p>ルイザ・メイ・オルコット『若草物語』（1868年及び1869年）；同映画（1933年、1949年及び1994年）</p> <p>マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』（1936年）；同映画（1939年；リマスター版公開1998年）</p> <p>チャールズ・ディケンズ『大いなる遺産』（1860-61年）；同映画（1998年）</p> <p>アリス・ウォーカー『カラーパープル』（1982年）；同映画（1985年）</p> <p>エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』（1988年）；同映画（1993年）</p> <p>スティーヴン・キング『スタンド・バイ・ミー』（1982年）；同映画（1986年）</p> <p>スザンナ・タマーロ『心のおもむくままに』（1994年）；同映画（1996年）</p> <p>*作品は変更する場合がある。</p>	
<p>【評価方法】 平常点とレポート。</p>	

【授業科目】 近代日本の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 近代の日本はどのように成立したか。そのきっかけは何だったのか。具体的な経過は。それらを史実に即して明らかにしていく。</p> <p>開国以後、変革を求める人々の願いに支えられて活躍した幕末の志士たち。旧体制を維持しようと奔走した勢力。それらの対抗の中から生み出された維新体制の特徴をまず明らかにする。そして、明治国家の目標は。「近代化」の道のりにどのような問題点が。といったことを取り上げていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>多数あるので講義中に逐次紹介する。資料はプリントして配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>これらを通して、歴史的な考え方や時間の流れの中で移り変わり、変化をとげる社会を構造的にとらえる手法を身につけて欲しい。また、歴史を見つめる視角についても触れてみたい。</p> <p>以下のようなテーマを設けて話しを進める。歴史的な事件や人物などの細かい知識は不要。ダイナミックに近代の全体像をつかみ、その中でいろいろな形で歴史との関わりをもった人々に細心の注意を払い、その生き様をみつめる目を養うことが重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇歴史の勉強＝年代暗記、知識詰め込み→まずは固定観念の転換から ◇明治維新はいつからいつまで→日本近代の見取り図 ◇欧米世界との接触→ペリー来航の意味するもの ◇攘夷と尊皇→排外主義とナショナリズムうずまく長州藩 ◇公武合体と公議政体論→坂本龍馬の「船中八策」 ◇大政奉還と戊辰戦争→慶喜の決断と誤算 ◇維新政府の目指したもの→中央集権による富国強兵 ◇征韓と内治優先→大久保内務卿の企図 ◇国権と民権の相克→自由民権の主張と植木枝盛 ◇経済発展と貧困・スラム→「下層社会」を見つめる目 ◇軍拡と対外膨張を準備したものは→「近代化」の実相 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 西洋史概説	【担当者】 井関正久
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>19, 20 世紀の西洋近現代史を概観するとともに、現在進行中の欧州統合過程について考察する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 松村尠/西川正雄/山口定, 地域からの世界史〈14〉『西ヨーロッパ』〈下〉(朝日新聞社 1993年)</p>	
授 業 計 画	
<p>まず 19 世紀の西洋近代社会の形成・定着・再編過程と自由主義・帝国主義の展開を概観する。次に、20 世紀に勃発した二つの世界大戦と西欧の衰退、そしてその後の東西冷戦の展開と終結について考察する。その際、冷戦の最前線に位置した旧東西ドイツに重点を置く。最後に、20 世紀西洋史の締め括りとして、冷戦終結後急速に展開する欧州統合過程の意義について考察する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、出席で総合評価する。</p>	

【授業科目】 東洋美術	【担当者】 鈴木 泉
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東洋美術の中核は仏教美術であり、その仏教美術を知るための基本的存在が仏像彫刻と言って差し支えない。本授業では、この仏像彫刻の歴史的な展開を、東洋の端に位置する日本を例に概観し、東洋美術の一面を垣間見ることにする。そこから、美術作品を見る眼、さらには美術分野に関する教養・知識の幅を広げることが狙いではあるが、なにより受講者諸君には、仏像を通して美術鑑賞の面白さを知ってもらいたいと考えている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いず、適宜プリント資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献等は必要に応じて授業中に紹介して行く。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>紀元前6世紀頃、釈迦によってインドに誕生した仏教は、紀元1世紀頃、礼拝対象としての仏教尊像すなわち仏像を造り出した。やがて、仏教の広まりとともに仏像もアジア各地に伝わり、それぞれの国・地域でその表情や姿を変えて行くのである。</p> <p>通例「東洋」とは、インド以東、主に東南アジア諸国・中国・朝鮮・日本を指す語といつてよい。しかし、その範囲は広く、各地域で文化の様相が異なり、美術様式も一様ではないため、必然的に地域・内容を絞らざるを得ない。</p> <p>今年度も、我々にもっとも身近な日本の仏像彫刻を主に取り上げ、その様式の古代から中世にかけての変遷について概観する。日本の美術は、常に大陸、とりわけ中国・朝鮮半島の強い影響を受けて進展を遂げており、彫刻も例外ではない。そこで、本授業においてもこの点を十分に踏まえ、随時中国・朝鮮半島等の仏像を比較参照の意味で紹介して行きたいと思っている。なお、今年度は、インドにおける仏像の誕生から、それが日本へ伝播するまでの経過にも注目し、特にインド・中央アジア・中国・朝鮮半島等における古代仏像彫刻についても、多少詳しくふれたいと考えている。</p> <p>授業はおおよそ以下の順序（前後することもある）・内容を予定している。一つのテーマを1～3回の講義でまとめて行くつもりである（授業回数の都合により一部変更する場合あり／ほぼ毎回スライドを使用する予定）。</p> <p>I. 仏像の誕生とその伝播</p> <p>①インド古代の仏像彫刻</p> <p>②インドから中国・朝鮮半島への流れと日本への伝播 中央アジア・中国・朝鮮半島各地域の古代仏像彫刻</p> <p>II. 仏像の見方</p> <p>③仏像の形式・材質・構造</p> <p>III. 日本における仏像様式の展開</p> <p>④飛鳥時代の彫刻～仏教伝来・渡来仏・止利様式と非止利様式・法隆寺の諸像</p> <p>⑤白鳳時代の彫刻～小金銅仏・当麻寺の諸像・旧山田寺仏頭・童顔童子形像</p> <p>⑥天平時代の彫刻～法隆寺塔本塑像・薬師寺、興福寺、東大寺、唐招提寺の諸像・写実様式の完成</p> <p>⑦平安時代の彫刻～唐招提寺木彫像群・密教尊像・一木造像・大仏師定朝と定朝様式・和様化・寄木造像</p> <p>⑧鎌倉時代の彫刻～運慶、快慶と慶派仏師・宋風彫刻・新たな写実様式</p> <p>IV. 総括</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①平常点（出席状況＝2/3以上の出席が原則・受講態度等） ②レポート（1回）</p> <p>③定期試験（筆記）</p> <p>以上を総合して判断する。詳細はあらためて授業中に説明する。</p>	

【授業科目名】 演劇論	【担当者】 高橋秀雄			
【開講期】 1 年 前期				
【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から来しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試し、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。				
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない 参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）				
授 業 計 画				
<p>洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇と比較することによって、その多様性と特徴を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教儀礼と演劇 2. 悲劇と喜劇 3. 能と「花伝書」 4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム 5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」 6. 歌舞伎と新劇 7. オペラとミュージカル 8. 比較演劇論 9. 現代と演劇 				
<p>【評価方法】</p> <table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 </td> <td style="border: none; font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="border: none; vertical-align: middle;">左記3項による総合評価</td> </tr> </table>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価
<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価		

【授業科目】 現代社会論	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>本講義は「福祉国家」・「戦争」・「管理社会」を切り口として、現代社会、特に20世紀の日本社会を分析する。具体的な組織・制度・政策の考察を通して、現代人と現代社会との関係や現代国家にとっての個人の意味・価値などの諸問題を理解するために役立つ知識と分析の仕方を提供する。本講義の受講によって、学生たちは現代社会、特に20世紀の日本社会を福祉の視点で分析する知識と思考力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『日本型福祉国家の形成と「十五年戦争」』ミネルヴァ書房、1998年。</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <p>I 現代社会の特徴 ①現代社会の定義 ②20世紀の日本社会</p> <p>II 現代社会の面相（1）＝産業社会と消費社会 ①現代社会の発展の原動力：現代産業構造の形成 ②現代就業構造の形成 ③産業社会と現代人の意識構造の変化 ④消費社会と情報社会</p> <p>III 現代社会の面相（2）＝管理社会 ①「管理社会」のイメージ ②管理社会化の現象・形態 ③社会主義社会＝管理国家の一形態 ④福祉国家＝管理国家の一形態 ⑤戦争国家＝管理国家の極限状態</p> <p>IV 現代社会の面相（3）＝福祉社会 ①社会問題の諸類型 ②福祉社会の設定者・執行者＝厚生省 ③福祉社会の柱の一つ＝年金保険制度 ④福祉社会の柱の一つ＝医療保険制度 ④福祉社会の柱の一つ＝生活保護制度</p> <p>V 総括 — 21世紀人類社会のゆくえ</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（テキスト・ノートなど参照可）と出席状況。</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 人間にとって家族とは何か</p> <p>2. 家族のはたらき</p> <p>3. 家族のタイプ</p> <p>4. 家族のしくみ</p> <p>5. 家族と福祉</p> <p>6. まとめ</p>	<p>－ 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>－ 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一樣に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>－ 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>－ 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>－ 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。 (1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>－ 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p>
<p>【評価方法】 ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目】 日本国憲法	【担当者】 松田 浩
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、日本国憲法の仕組みと働きの大枠を理解することを目標にします。みなさんがこれから市民として、職業人として生活していくうえで、最低限必要な憲法や法についての基本的な考え方を、この授業を通じて身につけて下さい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>無</p>	
<p>【参考書】</p> <p>さしあたり、芦部信喜『憲法』（岩波書店）。「面白い本」ではありませんが、日本国憲法についてのスタンダードな知識を得たい方は手にするといいでしょう。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、日本国憲法とは何か 2、日本国憲法の基本原則 3、国民主権・天皇制 4、平和主義 5、基本的人権総論 6、精神的自由権 7、経済的自由権 8、人身の自由・国務請求権・参政権 9、社会権 10、統治機構総論・国会 11、内閣・財政・地方自治 12、裁判所・違憲審査制 13、憲法改正 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席）と期末試験で評価</p>	

【授業科目】 市民生活と法	【担当者】 武藤健一
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>2年後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出ていって見て、女性として遭遇すると思われる事柄・問題について、法律という観点を加えて、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>適当なものがないので、テキストは使いません（レジュメ配布）。</p>	
<p>【参考書】 伊田 広行 「シングル単位の社会論」（98年 世界思想社）をあげておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代日本では女性がどのような状況におかれているのかということ、1° 就職・労働、2° 恋愛・結婚・家族、という2本の柱を立てて、社会学的に、法学的に考察していきます。</p> <p>ちなみに去年は、1° :①M字型雇用 ②不況 ③就職 ④総合職・一般職 ⑤セクシュアル=ハラスメント ⑥転職 ⑦派遣労働 ⑧育児・介護休暇 ⑨保育 ⑩パート労働 ⑪性別職務分離と男女賃金格差 ⑫雇用機会均等法 ⑬労働基準法 2° :①恋愛観・結婚観 ②結婚 ③家事 ④育児 ⑤夫・恋人の暴力 ⑥子どもの虐待 ⑦離婚、を取り上げましたが、今年度は項目を少し減らし、ビデオを見る回数を増やすなど、余裕のある形にしたいと思います。</p> <p>注意</p> <p>飲食等、人に迷惑がかからないことは何をしてもいいですが、授業に関係のないおしゃべりは許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>昨年度同様に、学年末に試験を行ない、授業での出席点（・レポート点）を加味して評価をしたいと考えています。</p>	

【授業科目】 政治学入門	【担当者】 梅田 欽治
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主権者の一人として、日本と世界の政治に関心を持ち、自立した自分の意見をもてるようになること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のなかで資料を配布し、それをテキストにします。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業のなかで紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>「政治なんて嫌い」「政治は私には関係ない」「政治は難しく、わからない」などという人がいるかもしれません。本当にそうなのだろうか。</p> <p>実は、政治は面白いのです。私たちの生活に直接、関係しているのです。どうして、いまの日本の政治に怒らないのか、憤らないのか、このままで私たちの未来があるのだろうか。知りたい人は、この授業を受けたらよい。毎回、なにか新しい発見があるでしょう。</p> <p>今年は2000年、20世紀の最後の年です。そこで20世紀とはどういう時代であったか、を考えることにしたい。21世紀をどういう時代にしたらよいか、という展望は20世紀のなかにヒントがあるのです。</p> <p>20世紀の歴史のなかで、政治について学びましょう。その学び方のなかで政治学を知ることしましょう。戦争と平和、人権・環境…大切な課題がたくさんあります。</p> <p>私たちは日本国の主権者なのです。私たちが政治を動かすのです。政治学入門はそのために学ぶのです。入門ですから、気楽に受講しなさい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と試験の結果で評価します。</p>	

【授業科目名】 生活の経済学	【担当者】 内山哲朗
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本経済を「生活の豊かさ」の視点より取り上げ、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点に目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域—— 2 戦後日本経済の展開過程——時期区分—— 3 戦後日本の生活の変容 4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理—— 5 「生活の豊かさ」と高齢社会 6 「生活の豊かさ」と環境問題 7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター—— 8 生活福祉と社会政策 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。</p>	

【授業科目】 マスコミュニケーション概論

【担当者】 瀬木博道

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代ともいえる。これを初歩から読み起こし、マスコミ現象が社会に及ぼす影響について考えさせるようにしたい。社会で実際に必要となる広告、広報の理論も重点的に学びたい。

【テキスト】 瀬木博道ほか共著「コミュニケーションするPR」電通

【参考書】 瀬木博道ほか共著「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所

授 業 計 画

1. マスコミの理論 (上)
2. 同 (下)
3. マスコミの実際
4. ジャーナリズムの理念
5. 日本と欧米ジャーナリズムの違い
6. メディアとしてのテレビの長所短所
7. 言論の自由と知る権利 (上)
8. 同 (下)
9. 広報概論
10. パブリシティとは
11. 国際広告
12. 記者クラブの問題
13. 広告概念

【評価方法】 学期の筆記試験で決める。ただし、出席状況、受講態度は参考にする。

【授業科目】 現代社会と女性	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>男女共生社会に向けて、伝統的な性別役割分業を見直し、21世紀に生きる男女の望ましい在り方や生き方を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】 授業の中で資料を配布し、参考文献を紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>「男女は平等になっていますか」と聞かれたらあなたはなんと答えますか。現代は「女だから」「男だから」という理由で学校や家庭で差別を受けることは少なくなっています。しかし本当に男女は平等になっているのでしょうか。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることはまだまだ困難な状況にあります。そこでこの授業では、人生のパートナーである男性と女性がともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学びます。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、女性のライフサイクルの変化 2、女性を取り巻く社会的状況 3、性別役割分業とその問題点 4、女性と職業 5、少子・高齢社会と女性 6、男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末試験、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 自然科学史	【担当者】 柳下登
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学の歴史はヒトから人間化への歴史である。人間は古代から生命、広くは生物的自然に強い関心を持ち、それについての理解は紆余曲折を経て科学の姿を整えてきた。この講義ではそれぞれの時代の定説がより科学的な考えにとってかわった過程を追求することにした。そして、今日では生命科学の成果は生命操作の時代を迎えた。そこで、現代の生命科学をもとに確立したバイオテクノロジーと人間や社会の未来についての課題にも言及したい。</p>	
【テキスト】 プリントを中心におこなう予定。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 新編自然科学入門（甲斐義幸）学術図書、科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書、近代科学の歩み（H. バターフィールド）岩波新書、遺伝子組換え作物に未来はあるか（柳下登ら）本の泉社</p>	
授 業 計 画	
<p>1) 科学を成立させた人間の条件</p> <p>a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 生きること（生活）が自然についての理解を深める f. 道具で道具をつくる g. 定住と農耕 h. 技術が先か科学が先か</p> <p>2) 古代のエジプトとギリシアでの科学の起こり</p> <p>3) 生き物の本質を求めて</p> <p>a. アリストテレス生命の完成への目的 b. ヘルモントラの自然発生説 v s パスツールの実験 c. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ d. ラマルク：生物は段々と複雑になった e. ダーウィン：生物は共通の祖先から f. オパーリの生命の起源と「自然発生」説の復活 g. メンデルの遺伝の粒子説 h. ワトソン・クリックのDNAの2重らせん i. バイオテクノロジーの確立と人間、社会の課題</p> <p>4) 私の研究史：ピートン物語</p>	
【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他自発的なテーマ設定の提出物を評価に加える。	

【授業科目】 生命の科学	【担当者】 小作明則
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 21世紀を迎えようとしている今日「生物の多様性」の維持は地球上の生物環境をより安全な状態で維持していくための大きな課題である。この生物の多様性を支えている「生命」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史学的な理解を深め、さらに地上における「人類」が抱える今後の諸問題について概説する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>----- テキスト・参考書は特に指定しない。 -----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>この講義では授業目標に掲げた内容を理解するために、おおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけが目的ではなく、できる限り実物を自分の眼で見、手で触り、バーチャルではなく五感を持って理解することを目的としたい。</p> <p>以下に時間ごとのおおよその講義タイトルを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来 2. 地球と水と生命誕生 3. 地球型生物の特徴と進化 4. 分子生物学と進化 5. 植物と動物の分化と進化 6. 生物の存在と地球環境の変化 7. 脊椎動物の進化 8. 生殖方法の変化と動物進化 9. サルとヒト <p>以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩等実物を見ながら生命について考えていこうと考えている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポートあるいは筆記試験</p>	

【授業科目】 生物と環境	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類は多くの生物たちから様々な恩恵を受けてきた。しかしこの多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人類による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は私たち人類の将来にかかわってくる。ヒトと生物とその生存環境を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>OUR STOLEN FUTURE 邦訳『奪われし未来』 1997.9 翔泳社</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>今から30年以上前に、海洋生物学者のRachel L. Carsonは『Silent spring』で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？知らないことが幸せなのか、知ることが不幸せなのか。</p> <p>授業は決して易しくはありません。幅広い基礎教養が要求されるはずです。今までの勉強がどれだけのものだったかが判ると思います。知る努力を惜しまず、共に考え続けていきたい。</p> <p>自然科学の世界 単位について 環境とは 生物の世界 生態系、その構造と機能 天然化学物質と合成化学物質 沈黙の春 環境汚染 内分泌攪乱物質 奪われし未来</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点+筆記試験</p>	

【授業科目】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住ならびに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している原子や分子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本授業の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「物質とは何か」-化学の基礎- 東京教学社</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗いてみよう。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何により決まるのだろうか。 6. 物質の状態は何により決まるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酸は何故酸っぱく感じるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 人や物質の老化は防げるか。活性酸素の化学。 12. 物質科学とエネルギー。 13. 物質科学からみた衣類、高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 21世紀の物質の世界を考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、レポート、出欠により評価する</p>	

【授業科目】 健康の生理学	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 1. 健康の概念と健康管理活動の原理の理解 2. 人体各器官の生理機能の理解 3. 疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の習得 4. 女性の医学 5. 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定）：自己測定を行い健康への関心を高める	
【テキスト】 シンプル 衛生公衆衛生学（改訂第9版）南江堂	
【参考書】 栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論 南江堂 新・健康管理概論（改訂第2版）医歯薬出版	
授 業 計 画	
第1回 健康の概念 第2回 疾病予防と健康管理（I-1）：わが国の健康水準と健康増進施策 第3回 疾病予防と健康管理（I-2）：生活習慣病（癌・心疾患・高血圧） 第4回 疾病予防と健康管理（I-3）：生活習慣病（脳血管疾患・糖尿病・高脂血症） 第5回 疾病予防と健康管理（II）：健康管理法 （肥満・運動・ストレスと休養・飲酒・喫煙などの健康への影響） 第6回 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定） 第7回 女性の医学（I）（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン） 第8回 女性の医学（II）（主な疾患の概要） 第9回 女性の医学（III）（性病・人工妊娠中絶と避妊法） 第10回 学校保健・産業保健 第11回 環境保健・母子保健・地域保健・ 第12回 感染性疾患（インフルエンザ・肝炎・AIDSなど） 第13回 成人・老人保健 第14回 保健医療制度と法規	
【評価方法】 出席点と筆記試験	

【授業科目】 宇宙と地球	【担当者】 猪郷久義
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>地球上で我々が生活の舞台としている自然環境は、地球全体から見ればごく限られている。また46億年の悠久の地球史という立場から見ると、人類史はほんの一瞬である。現代の宇宙観・地球観を通して改めて自然環境とその変遷、特に生物が関与してきた地球環境の変遷史を探究し、身の回りの自然環境に理解を深め将来を展望しよう。また自然災害と防災科学という身近な面からも地球をもっと知ろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>その都度適当なものを推薦する予定</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業は通常の講義に加えてスライドやOHPによる討論などを加えて行うがその主なトピックスは下記の予定である。</p> <p>現在の地球観（大陸移動説からプレートテクトニクスとブルームテクトニクス）</p> <p>自然災害の地球科学（地震と火山とつき合う・海水面変動・気候変動）</p> <p>地球環境変遷史（原始地球の自然環境・最古の生命・酸素と二酸化炭素・酸化鉄の沈澱・シアノバクテリア・エディアカラ動物群・進化の実験場ー澄江動物群とバーゲス頁岩・植物と脊椎動物の上陸作戦・ジュラシックパーク・恐竜時代の終焉・哺乳類の春・氷河時代と人類・縄文人に学ぶ）</p> <p>宇宙のなかの地球（隕石と惑星の科学・太陽系の誕生・宇宙の誕生）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>論述形式のテスト</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>【総合科目人間全体について】</p> <p>1年間で3人の教員が担当する総合科目であり、「ヒューマニズムと人間」の考察が大目標である。</p> <p>鍾（前期前半）→栗田（前期後半）→平賀（後期）の順で講義する。</p> <p>【栗田担当分について】 哲学的なアプローチで「人間・ヒューマニズム」を考察する。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>「ヒューマニズムは間違っている」と言う人は多くないが、では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。「人間を大切にするのは当たり前だ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。要するに、「世間的通念」に流されているだけである。「ヒューマニズム」は白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されねばならない。</p> <p>こうした立場から、おおむね、以下の順に講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」態度について。 ② 「自己」と「世界」 ③ 我々の状況—近代に於ける「人間」の問題 ④ 「近代ヒューマニズム」思想の問題点 ⑤ アイデンティティーと共同体 	
<p>【評価方法】 <u>1年間を通して</u>（3人の教員が各々の担当部分の評価を持ち寄り）<u>全体として成績評価を下す。</u></p> <p>栗田担当部分の評価は、レポートにより、出席点を加味する。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>本講義は中国の事例を中心に、国際比較を通して、①自然に対する人間の意味付与と自然への融和、②人間の拡張欲望、③人間の消費欲望、④人間の欲望を実現・制限する現代国家、について分析する。日本人と中国人の人間像の異同及び現代国家における個人・家族の苦闘を探究する。異文化比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは人間、現代国家、外国を相対的に見るための知識と能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『中国民衆の欲望のゆくえ — 消費の動態と家族の変動』新曜社、1999年。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <p>I 自然に対する人間の意味付与と自然への融和 ①中国の住宅と日本の住宅との比較 ②「風水」信仰の意味・背景・影響</p> <p>II 人間の拡張欲望 — 家族の日中比較 ①外国人が見る日本の家族構造の特徴 ②中国の家族構造と伝統文化の深さ ③中国の「一人っ子政策」と日本の少子化 ④中国女性の社会的地位と日本女性の社会的地位</p> <p>III 人間の消費欲望 ①中国民衆の消費動態 ②近代化が進む中国民衆と日本民衆との共通点</p> <p>IV 人間と国家 ①人間の欲望を実現する手段とする現代国家 ②人間の欲望を制限する装置とする現代国家</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験（テキスト・ノートなど参照可）と出席状況。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期のヒューマニズムと人権に引き続き平和について考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるとはどのような状態をいうのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを一緒に考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>差し当たっては最も平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争について、過去の戦争や現代の地域戦争の実態を知ることからはじめ、ついで、それらの原因として重要と思われる国民国家の成立過程やナショナリズム形成の問題を取り上げる。そして、そういった戦争状態を回避するための取り組みがどのように行われてきたかを検討し、過去、現在そして将来におけるその有効性について考える。また、そういった行動の背景となった近代の平和思想の歴史についても触れてみたい。</p> <p>次のようなテーマで話しを進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇アジア・太平洋戦争と人・物・カネの総動員システム ◇現代の地域紛争 ◇核危機とゼロサム社会の現実 ◇近代国民国家形成とナショナリズム ◇近代の平和思想の歴史 ◇平和への取り組みと可能性－我々の憲法、国連の改革、NGO ◇平和への課題－人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 及川 学
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>論文型の英語を文法的に正確に読みこなし、あわせてテキストの文章のリスニングを行い聞き取りの能力も高めていく。中途半端な訳や勘で訳すのではなく論理的な根拠のある和訳ができるよう指導していく。</p>	
<p>【テキスト】 『THE HUMAN ANIMAL 人間と行動』</p> <p>デスモンド・モリス 新井哲男註解 成美堂</p>	
<p>【参考書】 授業時に紹介</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>第1週:授業の進め方の説明</p> <p>第2~3週:1章</p> <p>第4~5週:</p> <p>第6~7週:</p> <p>第8~9週:2章</p> <p>第10~11週:</p> <p>第12~13週:</p> <p>第14~15週:3章</p> <p>第16~17週:</p> <p>第18~19週:</p> <p>第20~21週:4章</p> <p>第22~23週:</p> <p>第24~25週:</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期、後期の試験(60%)、レポート、単語ノートの提出、出席回数(40%)を総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2

【担当者】 清野茂子

【開講期】 1年 前期・後期

【授業目標】

アメリカのテレビ局を舞台にして、描かれている今日的な話題を明快な英語を通して楽しみながら、読解力、及びリスニング能力を養成します。

【テキスト】

On the Air USA

Seibido; ¥ 1,800

【参考書】

授 業 計 画

24のunitのうち、前期でunit 12まで、後期でその残りを読み上げる予定です。従って授業にお席する前に必ず各unitを読んでくること。

【評価方法】

お席日数、平常の小テスト、及び期末テストを総合して評価。

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聞き取りをてがかりに、基本的な英語運用能力を養成しなおす。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>大学に入学して、意欲にあふれる時期に、初心に戻って英語の根幹を学んでいただく。切実に英語を学び直したいと願っている人は、積極的に参加していただきたい。最初はわかりきったところからはじめるが、少しずつ難しくなっていくので、気を抜かないこと。それから、クラスの人と仲良くなること。語学は、コミュニケーションのためにある。知らぬ人と友達になるのも語学の重要な役目のひとつであろう。(それに、仲間がいるとさばらずに進歩するから。)</p> <p>最初の数カ月は、基本的な発音、語彙、文法をみっちり詰め込む。説明されたことを理解したら、その場ですぐに使って覚えていく。指示されたことや思いついたことを口に出していってみる。テープによって、発音や基本的な会話のリズムを確認する。いずれも、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになろう。このようにして前期に基本的な運用能力を高めた上で、後期に読解を導入していく。「訳す」のではなく「読む」ことが目標である。</p> <p>小テストを行うことによってさらに理解と記憶を確かなものにしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニングおよびリーディングを中心にして、英語の基本的技能を維持し、向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 Hit Parade Listening (Macmillan Languagehouse)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>このクラスでは、英語独特の音声変化やストレス・リズムに注目し、日常会話や歌のリスニング練習を通して、そうした独特の現象に慣れていくようにしたい。そして最終的には、歌とともに日常会話の聞き取りが比較的楽にできるような段階にまで到達したいと思う。</p> <p>採用されている曲もよく知られている素晴らしいものが多く、さらに、その内容について書かれた文章は、リーディングの適当な題材となるであろう。</p> <p>リーディングについてもリスニングについても、練習問題の内のどれかを必ずいつも提出してもらい、その集積を成績の重要部分とする。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業態度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目名】 海外語学研修	【担当者】 瀧口 優														
【開講期】 1年夏期集中（前期5回の事前指導を含む）															
【授業目標】 イギリス、リーズ市に3週間ホームステイし、メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加しながら、日常生活の英語に慣れ、積極的にネイティブ・スピーカーや様々な国々の青年とコミュニケーションできるようにする。また、イギリスの文化に直接慣れ親しむ。															
【テキスト】 事前指導において指示します。															
【参考書】 必要に応じて指示します。															
授 業 計 画															
<p>前期に5回（その他出発直前に1回）、渡航すべてに関わる事前指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスポートの取得 ・渡航手続き ・イギリスの文化的知識の習得、現地生活に関するアドバイス ・基本的な英会話 <p>（事前指導などの連絡は教務掲示板を注意してみること）</p> <p>英国リーズ市でホームステイし、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに3週間参加します。現地の授業は、ネイティブ・スピーカーによる少人数クラスで行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 8月3日～8月28日（予定は変更になることもあります） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">8/3 成田出発→ロンドン・ヒースロー着</td> <td style="width: 50%;">ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>8/4 ロンドン市内観光</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>8/5 ロンドン→リーズへ移動</td> <td>ホームステイ開始</td> </tr> <tr> <td colspan="2">8/7～8/24 語学研修</td> </tr> <tr> <td>8/25 リーズ→ロンドンへ移動</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>8/26 ロンドン市内観光</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td colspan="2">8/27 ロンドン・ヒースロー→8/28 成田着</td> </tr> </table> <p>帰国後反省会を行います。</p>		8/3 成田出発→ロンドン・ヒースロー着	ロンドン泊	8/4 ロンドン市内観光	ロンドン泊	8/5 ロンドン→リーズへ移動	ホームステイ開始	8/7～8/24 語学研修		8/25 リーズ→ロンドンへ移動	ロンドン泊	8/26 ロンドン市内観光	ロンドン泊	8/27 ロンドン・ヒースロー→8/28 成田着	
8/3 成田出発→ロンドン・ヒースロー着	ロンドン泊														
8/4 ロンドン市内観光	ロンドン泊														
8/5 ロンドン→リーズへ移動	ホームステイ開始														
8/7～8/24 語学研修															
8/25 リーズ→ロンドンへ移動	ロンドン泊														
8/26 ロンドン市内観光	ロンドン泊														
8/27 ロンドン・ヒースロー→8/28 成田着															
【評価方法】 事前指導、語学研修の参加（修了証取得）と帰国後のレポートにて評価															

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2英語	【担当者】 磯山 滯一
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「赤毛のアン」「メアリー・ポピンズ」などの名作を平易な英語で書き直したテキストを多読することで、英文を読んだり表現する力を高めます。また、時々英字新聞などを用いて時事英語についても勉強します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配ります。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期</p> <p>Ann of Green Gables (L. M. Montgomery: retold)</p> <p>Mary Poppins (P. L. Travers: retold)</p> <p>Chirtmas Present (O. Henry: retold)</p> <p>No Safe Was Safe (O. Henry: retold)</p> <p>Sadako and One Thousand Cranes (Eleanor Coerr)</p> <p>後期</p> <p>Human Comedy (William Saroyan: retold 一部)</p> <p>Runaway Slave: The Story of Harriet Tubman (Ann McGovern)</p> <p>Told by the Schoolmaster (J. Gawlsworthy: retold)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、小レポート、出席状況などを総合して評価します。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2英語	【担当者】 川口淑子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>著名な作家の作品に触れる機会を持ち、表現のユーモアを楽しみながら、細部にわたる、伝達内容のニュアンスを捉える能力を養う。</p>	
<p>【テキスト】 The Importance of Being Earnest (Oscar Wilde, 北星堂)</p>	
<p>【参考書】 必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストは The Importance of Being Earnest の短縮版を用いる。古典的作品とはいえ、恋愛にかかわるコメディと読むので、作品自体を楽しみながら英語能力の向上を計ってもいい。</p> <p>リスニングなども取り入れ、読解のみで終わらない授業展開を予定している。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、試験などから総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学 I-1、2 英語	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>地球環境問題について考え、健康な生活を送るための身近な話題や生活に役立つ最新健康情報を学びながら英語力を養成することを目指します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Environment and Health Seibido ¥1,700</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>20の lesson を一年内通して読み、それぞれの問題点を認識していきたいと思います。</p> <p>授業に出席する前に、必ず Reading は読んでくること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、及び期末テストを総合して評価。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 英語	【担当者】 スワン、w、ローレンス
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
【テキスト】 ありません	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキットを作り、おぼえ、そのあと演じてもらいます。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents <p>注：このクラスを取る学生は全部のクラスに出席すること。理由のいかんにかかわらず、欠席は認めない。</p>	
<p>【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2英語	【担当者】 東郷 裕
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ある程度の長さの英文を精読し、内容を理解しながら読んでいく訓練をする。また同時に、短編小説のもつすばらしさと楽しさを味わえるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p><u>Youth and Love—Six British Short Stories</u> (金星堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的には訳読を中心とする。最初は時間をかけて文章を読んでいくが、徐々に読む速度を上げていき、最終的にはあまり時間をかけずに一遍を読むことができるようにしたい。また文法的な解釈および説明はできるだけ省き、必要最小限に留めておく。一遍を読み終える毎にレポートを提出。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テストと日ごろの提出物及びレポートによって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 独語

【担当者】 川口 真理

【開講期】 ①年 前期・後期

【授業目標】

文法の理解、および「読む、聴く、書く、話す」の様々な練習を通じて、一年間でドイツ語の基礎力を付けることを目指します。

【テキスト】 『新・問・かけ子ドイツ語』 大谷弘道・大谷ウルトラ著
三修社

【参考書】

授 業 計 画

最初の時間では、「新・問・かけ子ドイツ語」をテキストにドイツ語の基礎的な文法を体系的に理解することに努めます。主に「読む、書く」能力のためのレッスンです。

次の時間では様々なエピソード教材を用いて簡単な日常表現を覚え、聴き、読み、自らが実際に使う練習を行います。主に「聴く、話す」能力のためのレッスンです。

【評価方法】

出席状況、課題への取り組み方、学期末試験の成績を総合的に評価します。

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 皆さんにとって初めて学ぶ言語を、大きく視野を広げられるよう、楽しく習得しましょう。まず大事な発音、文字、文章、文法などの基本をしっかりと学び、フランス語を話す人々の考え方、文化、歴史を知っていきましょう。</p>	
<p>【テキスト】 『モン フランセ』 数藤ゆきえ・酒井由紀代著 駿河台出版社</p>	
<p>【参考書】 《R e f l e t s 1》ビデオ教材</p>	
授 業 計 画	
<p>月曜日 1時限：文法を中心に教科書を使って授業をします。</p> <p>3時限：《Reflets》というビデオ教材を使って、目から、耳から、生のフランス語に親しんでいきます。パスカル、ジュリー、ブノワという3人のフランスの若者が共同生活をしながら社会人となっていきます。皆さんとほぼ同じ年頃のフランスの若者は、どんなことを考えどんなふう生きてでしょうね。楽しみです。</p>	
<p>【評価方法】 学期末試験</p>	

【授業科目】 スポーツA (テニス)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主にダブルスのゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲームによる応用技術、戦術の獲得へと移行し、なるべく早い段階からゲームを行いルール、マナーの理解を深めたい。 後半はリーグ戦を行い、より高い技術、戦術の習得とテニスの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ラケット操作に慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) ストローク (フォアハンド&バックハンド)</p> <p>サービス (アンダー&オーバー)</p> <p>ボレー (ロー&ハイ)</p> <p>ロビング、スマッシュ等の基礎技術の練習</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして)</p> <p>(1) ルール、コートマナー、エチケット及び試合の進め方について</p> <p>(2) ダブルスペアの決定</p> <p>4. ゲーム技術の習得 (主にダブルスゲーム)</p> <p>(1) スポンジボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション)</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p> <p>*雨天時には、屋内においてスポンジテニス等を行います。</p> <p>*ラケットは貸し出しますが、持参してもかまいません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点</p>	

【授業科目】 スポーツA (ダンス)	【担当者】 松村 朋子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>・ストレッチやエアロビクスによって、運動不足の解消、運動機能の向上をはかるとともに、ダンスに親しむ。そして、用具を使わず、自分のからだだけで運動でき、さらに、芸術的センスを磨くことのできるダンスを通じて、楽しみながら運動することを体験してほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、ストレッチ からだ全体を使って、自由に運動できるように柔軟性を高める。 普段あまり使わない筋肉を意識的に動かす。</p> <p>2、基本コンビネーション 歩く、走るを基本とするエアロビクスの中に、スキップ、サイドステップ、ジャンプなどを取り入れた短いコンビネーションを習得する。</p> <p>3、ダンスプログラムの習得 コンビネーションを組み合わせて構成されたプログラムの振付を覚える。</p> <p>4、グループでのダンス構成と実演 習得したコンビネーションをグループで隊形変化をつけたり、一部振付を行い、ダンスプログラムをつくり発表する。ビデオ撮影を行い、クラスで鑑賞する。</p> <p>*運動可能な服装・シューズで授業に出席すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と授業態度を特に重視する。作品発表を実技テストとする。</p>	

【授業科目名】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 村田 務												
【開講期】 1年 前期													
<p>【授業目標】</p> <p>バレーボールの技能及び体力の向上をめざすとともに、運動継続への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的技能及び集団的技能 ・ 技能の程度に応じた練習法 ・ 審判法及び指導法 													
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 西川順之助 : バレーボール、成美堂、1995年。 斉藤秀明監修：バレーボールルールブック、有紀書房、1995年。</p>													
授 業 計 画													
<p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に継続して活動することが可能なスポーツである。</p> <p>授業では、これらの観点から、将来にわたってバレーボール運動が継続できるように、「楽しい授業」、「技術の向上がわかる授業」、「自ら創りだす授業」をめざす。</p> <p><u>学習内容</u></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">① 個人的技能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">② 集団的技能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">③ 指導技術</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 </td> </tr> </table> <p><u>授業の流れ</u></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">① 全体活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通課題の解決 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">② グループ活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">③ ゲーム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得 </td> </tr> </table>		① 個人的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング 	② 集団的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり 	③ 指導技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 	① 全体活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通課題の解決 	② グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得 	③ ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得
① 個人的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング 												
② 集団的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり 												
③ 指導技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 												
① 全体活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通課題の解決 												
② グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得 												
③ ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得 												
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（平常点、実技等）</p>													

【授業科目】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>6人制のゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲーム、ソフトバレーボール等による応用技術、戦術の獲得へと移行し、早い段階からゲームを行い、ルール、ポジションの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、バレーボールの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ボールに慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) 基本動作の練習 レシーブ (オーバー&アンダー)、スパイク、サービス</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして)</p> <p>(1) ルール、マナー及び試合の進め方について</p> <p>(2) 戦術、ポジショニングの反省</p> <p>4. ゲーム技術の習得 (6人制)</p> <p>(1) ソフトバレーボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション)</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点</p>	

【授業科目名】 スポーツA	バドミントン	【担当者】 岡田光弘
【開講期】	1 年 後期	
【授業目標】	<p>* 練習の仕方、試合の仕方、観戦の仕方などを、 段階的に技術を学んでいくなかで、習得すること</p> <p>* 自分たちだけで試合ができるようになること</p>	
【テキスト・参考書】	特に指定しない	
授 業 計 画		
<p>自分たちだけで試合ができるように、以下の順で進行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニゲーム 2. ドリル 3. ダブルスでのゲーム 4. シングルスでのゲーム 5. セットイン形式でのゲーム <p>以下の技術についての基礎練習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーブミス 2. クリア 3. ヘアピン 4. スマッシュ 		
【評価方法】	・ 技術、態度、知識（小テスト）を評価する。	

【授業科目】 スポーツA (トランポリン)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、トランポリンを行なう前のルール説明 2、トランポリンの移動方法 3、トランポリンの準備と片付け方（組み立てとたたみ方） 4、トランポリンへの上り方、降り方 5、トランポリンに慣れるための練習 6、垂直跳びとジャンプの止め方（チェックバウンス） 7、技能練習 <ul style="list-style-type: none"> ・かかえ跳び ・開脚跳び ・閉脚跳び ・腰落ち（シートドロップ） ・ひざ落ち（ニーズドロップ） ・手つきひざ落ち（ハンズ アンド ニーズドロップ） ・腹落ち（フロントドロップ） ・腰落ち—$\frac{1}{2}$捻り—腰落ち（スイブルヒップス） ・開脚跳び—腰落ち ・前方宙返り—腰落ち 8、連続技の練習 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点（出席と危険もともなうので授業態度重視） ・授業中に実技テストを実施する。 	

【授業科目名】 健康科学	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間性豊かで健康的な生活を確立するために必要な能力と態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の健康問題と健康に対する考え方について ・健康の破壊と成立の条件について ・健康の設計と処方について 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 使用しない</p> <p>参考書 宇土正彦・正木健雄監修：青年の健康と運動、現代教育社、1995年。 国立大学等保健管理施設協議会編：学生と健康、南江堂、1996年。他</p>	
授 業 計 画	
<p>人間性豊かで健康的な生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践的な行動能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会的な環境に大きな影響をうけている。そして、その解決には、人間の生物学的側面はもとより、行動学的側面や環境的側面、保健医療体制的側面を抜きにしては考えられない。</p> <p>授業では、このような健康観に立って行動学的側面や環境的側面を中心に、疾病予防と健康増進の学問としての、新しい健康科学の知見や考え方について解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、健康科学の概念 2、今日の健康問題 3、疾病の疫学と健康の成立条件 4、主体と健康 5、環境と健康 6、保健行動と健康 7、保健医療体制と健康 8、健康問題Ⅰ（アレルギー） 9、健康問題Ⅱ（ストレスと精神的健康、ダイオキシンと環境ホルモン） 10、健康問題Ⅲ（生活習慣病：がん、脳卒中、虚血性心疾患、糖尿病、肥満） 11、健康問題Ⅳ（薬害：サリドマイド、スモン、エイズ） 12、健康生活の設計と処方 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（2回のペーパーテスト、学習への意欲）</p>	

【授業科目名】 スポーツ科学	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを見て楽しめるようになること、 スポーツをしてみたいくなること ・ スポーツを社会現象として、批判的に見る眼を養うこと 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>AERA MOOK「スポーツ学のみかた」朝日新聞社</p> <p>日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなトピックを扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツと科学：スポーツ科学の全体像 2. ジャンプ競技と揚抗比 3. ポブスレーとクロストレーニング 4. スポーツの技術・道具の変化と科学 5. 滑降競技と乳酸 6. 滑降競技と環境問題 7. ドーピング問題と日常生活 8. スポーツとアイデンティティ：ラクロス、カーリング 9. スポーツとルール 10. スポーツと遊び 11. スポーツ解説と分析 	
<p>【評価方法】</p> <p>各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。</p>	

專門教育科目（1年）

【授業科目名】 心理学概説	【担当者】 多喜乃亮介・倉澤寿之・金愛慶
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理学という学問の歩みや基本的な考え方を学びます。また、これから勉強していく心理学の各分野を概観します。	
【テキスト】 【参考書】 個々の授業の中で紹介します。	

授 業 計 画

1. 心理学の歴史と基本的立場-----倉澤
2. 知覚心理学-----多喜乃
3. 実験心理学-----多喜乃
4. 学習心理学-----多喜乃
5. 発達心理学(青年心理学)-----金
6. 人格心理学-----金
7. 臨床心理学-----金
8. 健康心理学-----金
9. 生理心理学-----多喜乃
10. 社会心理学-----倉澤
11. 心理学の研究法-----倉澤
12. 心理学と社会-----倉澤

【評価方法】

出欠席と期末試験により評価します。

【授業科目名】 発達心理学Ⅰ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 発達心理学Ⅰは乳幼児期と児童期を対象とする。特に、その心理的発達の側面、知的発達、感情的・情緒的発達、社会性や自我の発達を、多くの実証的研究と知見をもとにたどって行く。	
【テキスト】 武藤・高橋・田島編 「発達心理学入門（Ⅰ） 乳児・幼児・児童」 東京大学出版	
【参考書】 「発達心理学」 武藤 隆・久保ゆかり・遠藤利彦編著 岩波書店 「発達心理学への招待」 落合正之行他 サイエンス社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 発達心理学とは。 子どもを研究することの意義と問題点 2) 比較行動学と発達研究 3) 胎児期 4) 初期経験 5) 乳児の認知と社会化 6) 認知 7) 言語 8) 社会的認知、遊び 9) 人間関係 10) 動機づけ 11) 自己・自我 12) 適応と問題行動 	
【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目】 知覚心理学	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。	
【テキスト】 「最後まで読める心理学」 ブレーン出版 著者：金子尚弘・神田信彦・倉澤寿之	
【参考書】 授業の進行に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」 知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。 2、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINETE ESCHER」 私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。 3、感覚器官と感覚刺激の話ー視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」 我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。 4、色の知覚、ビデオ「Colour」 色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。 5、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚 視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。 6、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」 錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。 7、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」 さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。 8、知覚情報処理。ビデオ「キューとスキーマ」 我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。 9、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」 私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。 10、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚 音の知覚や、音源定位を実際に体験する。 11、味と匂いの知覚、時間の知覚 味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。 12、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度 知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。 <p>その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術ー初めて見る世界ー」</p>	
【評価方法】 学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。	

【授業科目名】 学習心理学 I

【担当者】 金子 尚弘

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 人間の行動も動物の行動もたくさんの類似点があります。また反対に、身近の観察から、人間と動物の違い、あるいは個人差があることに気が付くでしょう。この授業では、行動が学習されていく過程を理解しながら、私たちの考えがどのように変化するのか、行動、思考、言葉の間にどのような関係があるのかを勉強します。

【テキスト・参考書】

「最後まで読める心理学」 ブレーン出版 著者：金子尚弘・神田信彦・倉澤寿之

授 業 計 画

この授業では、学習について主に行動について考えていくことにします。

行動について次のことを考えてみます

- ① どの生物にも共通の基本的な行動はなにか
- ② 個人ごとの行動の差はどのようにして生まれるのか
- ③ 場所や相手ごとの行動の差はどのようにして生まれるのか

1、生まれながらにある基本的な行動

2、行動の共通点と個人差

3、行動獲得のメカニズム ——条件づけ——

1) レスポンデント条件づけ (パブロフの条件づけ)

- (1) 条件づけの測り方
- (2) 刺激の時間関係
- (3) 般化と分化
- (4) 消去と自然的回復
- (5) 2次条件反応
- (6) 条件性情動反応

2) オペラント条件づけ ——弁別刺激、行動、強化——

- (1) 弁別刺激による行動のコントロール
- (2) 強化と罰
- (3) 無条件強化子と条件性強化子
- (4) 行動の原因
- (5) 強化のスケジュールと行動の維持
- (6) 行動が変わる、行動が消える ——消去——

4、問題のある行動を変える ——行動修正の基本的考え方——

5、教育や療育への応用

【評価方法】

適宜小テストを行う。期末にもテストを行い最終的な学習成果を測り、平常点とともに評価する

【授業科目名】 学習心理学Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 思考および記憶に関する多くの実験的研究を通して明らかにされた事実や理論を紹介する。思考については、特にことば、概念の獲得、推理の発達的变化の過程を見ていく。また、記憶については、記憶の過程、記銘する材料、時間的要因、個人の持っている知識等と記憶の関係等を考える。	
【テキスト】	
【参考書】 「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 サイエンス社 「新思考心理学入門」 R. E. メイヤー著 サイエンス社 教育心理学講座2「学習」 大村彰道編 朝倉書店 学習心理学 梶田正巳・大田信夫編 福村出版	
授 業 計 画	
1. 問題解決と推理 問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ 認知の発達 演繹的推理と機能的推理 創造性（ 2. 概念過程と言語の獲得 概念の構造と概念学習 言語の獲得と思考 3. 記憶と忘却 記憶とは何か 記憶の研究法（記銘材料と測定法） 短期記憶と長期記憶 忘却 記憶術 4. 有意味材料の記憶 エピソード記憶と意味記憶 記憶の変容	
【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目】 人格心理学	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 「人格とは何か？」、 「人格心理学の分野では何を研究しているのか？」、 「人格心理学での研究はどのような貢献をしているか？」、 などをキーワードにし、人格心理学を概観する。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 大貫敬一・佐々木正宏(編著) パーソナリティの心理学 福村出版 野口京子(著) 人格心理学 明星大学出版部 青柳肇・杉山憲司(編著) パーソナリティ形成の心理学 福村出版</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人格の定義 2) 人格の捉え方: 類型論と特性論の各論 3) 各学派における人格の理解: 精神分析的・現象学的・行動論的 4) 人格の形成と発達 5) 人格における健常と異常の様相: 人格障害とその治療 	
<p>【評価方法】 筆記試験</p>	

【授業科目】 生理心理学	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心を成立させる脳の働きについて学習する。心を直接目で見ることはできないが、身体的な変化や神経系の反応は観察できる。そうした変化を測定して得られた生理学的知識を心理学に活かすことができるようにする。そのために、神経系の基礎から始まり、複雑な脳の構造が心のどのような側面と関連しているのかを整理し、脳の働きが妨げられたときに、心にどのような影響が生じるのかについて学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>時実 利彦, 『脳の話』, 岩波書店, 1962年</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の項目に従って進める</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心の座を求めて 心身二元論, 骨相学, 機能局在論 2. 生理心理学的研究方法 構造を知る 解剖学的知識, 画像診断 反応を知る 電気生理学的測定, 血流変化による機能画像, 身体変化 3. 神経系の発生と発達 他の動物種の脳 人の脳の発達, 成熟, 老化 4. 中枢神経系の分類 大脳皮質, 大脳辺縁系, 基底核, 間脳, 中脳, 小脳, 延髄, 脊髄 5. 末梢神経系の分類 脳神経, 脊髄神経, 体性神経系, 自律神経系 6. ニューロンと信号伝達 インパルス, シナプス, 伝達物質, 興奮と抑制, 薬物の影響 7. 反射中枢 脊髄反射, 脳幹反射 8. 脳の機能地図 体性感覚野, 運動野, 視覚野, 聴覚野 9. 脳の高次機能 連合野の働き, 言語, 認知, 記憶, 応答 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験</p>	

【授業科目】 基礎技法演習	【担当者】 小林 玄
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>①科学レポートのまとめ方 ②考察力の向上。</p> <p>以上2点の修得を目標として進めていきます。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で適宜紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>心理学の研究を進めていく上で、研究の内容をレポートや論文にまとめることは欠かせないことです。</p> <p>本演習では、科学レポートのまとめ方の基礎を学び、実際の課題を通してレポートを作成することに慣れていただきます。</p> <p>また、併せて研究内容、研究結果の考察の深め方、参考文献の集め方、などにも言及していきたいと考えます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中の小レポート及び学期末のレポートで評価します。</p> <p>出席も重視します。</p>	

【授業科目名】 心理学演習Ⅰ	【担当者】 荻野、金子、多喜乃、倉沢、金、中丸、高橋、富田
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験的手法、データの収集と処理法、数量化や図式化、レポートのまとめ方、などを習得する。</p>	
<p>【テキスト】 「実験演習の手引き」と、各実験毎に実験方法とデータ整理方法などをまとめたプリントを配布。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>各クラスは4グループ（1グループ15～16）に別れ、授業時間内に終了するように計画された基礎実験を行う。</p> <p>実験は担当教員から実験の目的、方法について説明を受けた後、互いに実験者と被験者となって実験を行い、実験データを作る。その後、担当教員からデータの処理法、考察の要点等、レポートの作成に必要な要点についての説明を受け、次回の実験の前日までに各自レポートを書き、提出する。</p> <p>実験は、1回の授業枠で終了する比較的簡単なもの（実験A）と、条件設定がやや複雑になったり、データの量が大きくなったりするため2週にわたって行われるもの（実験B）から構成され、実験の順序はグループによって異なる。</p> <p>実験の種類（予定 変更の可能性あり）</p> <p>導入実験：ミューラー・リャーの錯視 触2点弁別 実験A：鏡映描写 大きさの恒常 色名呼称 情報の伝達と変容 実験B：反応時間 要求水準</p> <p>クラス別け、実験日程、実験室・教室等は、授業の第1回の時にプリントを配布し、説明する。</p>	
<p>【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。</p>	

【授業科目名】 心理学演習Ⅱ	【担当者】 荻野、金子、多喜乃、倉沢、金、中丸、高橋、富田
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 演習Ⅰでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習Ⅱでは課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、動物実験のほか、実験室に限定されない場面での調査や心理テストなども行う。</p> <p>調査では、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法、心理テストではその実施方法と判定・診断法等を学習する。また、動物の実験経験し、人間以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。</p>	
<p>【テキスト】 各実験毎に実験方法、データの処理方法、実験結果についての考察の要点などをまとめたプリントを配布する。</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>実験演習Ⅰと同様、各クラス4グループに別れて行う。実験Ⅰと異なり、4つの主要な実(調査等を含む)は2週を単位として行われる。ほかに1週間単位の心理テストが2種類入る。</p> <p>実験Ⅰと異なり、授業時間外での実験や、データの収集も行われる。また、後期授業終了後に行われる、2年生の卒業研究発表会に参加し、感想文等を書き、提出しなければならない。</p> <p>実験等の種類(予定 変更の可能性あり)</p> <p>実験/調査：オペラント条件づけ 項目分析 SD法 他 心理テスト：YG性格検査 内田クレペリン精神検査</p>	
<p>【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。</p>	

【授業科目名】 心理学総合演習	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学についての英文になれましょう。 あわせて、よく使われる英字の専門用語を紹介します。 以上が目的です。そのためには自分の当たった所だけ勉強するのではなく、全体についての予習もして下さい。活発に質問して下さい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>Australiaの高校生向けの、心理学のテキストを読みます こちらでcopyを用意します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>Intelligence</p> <p>What is intelligence? Is there a general factor of intelligence? How is intelligence measured? What is an IQ? How are IQ scores distributed in the person? Is there a genetic basis for intelligence? Are IQ tests reliable? Are IQ tests valid? Do IQ tests measure creativity? Are IQ tests fair to all cultural groups? Do the faults of IQ tests outweigh their usefulness?</p> <p>逐語訳を中心とします。</p> <p>英和辞書は初回から、必ず持参して下さい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点で評価します。これはいわゆる出席点ではありません。特に当たった必ず責任を果たして下さい。そうでないと評価の対象になりません。</p>	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 <p style="text-align: center;">研究論文の読解能力を養う</p>	
【テキスト】 <p style="text-align: center;">資料配布</p>	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">近年臨床心理学の領域で注目を集めている「人格障害」に関する 幾つかの臨床心理学分野の研究論文を取り上げ、それを読解する ことによって、人格障害に関する基礎知識を習得するとともに、 臨床心理学的な研究の進め方を学ぶ。</p>	
【評価方法】 <p style="text-align: center;">出席日数、討論への参加度、個人テーマのレポート</p>	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 池田善英
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 <p>①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。</p> <p>②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。</p>	
【テキスト】 松田 美佐 著 「うわさの科学」(KAWADE夢新書)	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>根も葉もない噂が一人歩きすることがあります。人はなぜ噂を信じてしまうのでしょうか。また噂はどのように広まっていくのでしょうか。このような問題についてテキストでは、社会心理学の立場から検討しています。そこには流言と流行、説得と態度変容、同調と逸脱、メディアと個人、などの問題が含まれます。</p> <p>学生の皆さんはテキストに書いてあることを、身近な経験と照らし合わせながら読んで下さい。その内容で納得のいくこともあるでしょう。しかし鵜呑みにしてはいけません。「ちょっと違うな」と感じることを探し、どこがどう違うのかを明らかにするよう考えてみて下さい。</p> <p>テキストを読み進めるに当たって、まず始めは全員で輪読していきます。受講生の皆さんがある程度慣れたところで、分担しながらレジメに基づいて報告してもらうようにします。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場にたって、分かりやすく説明して下さい。</p> <p>なお時間の制約があるため、テキストの全てに触れることは難しいと思います。一方で必要に応じて、関連する学術論文など、テキスト以外の資料も紹介したいと思います。また理解を深めるために、テキストや資料を読むだけでなく、簡単な実験を行うことも検討しています。</p>	
【評価方法】 <p>①レポート ②平常点</p>	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 高橋浩子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1 心理学の基礎知識の習得 2 女性のライフサイクルにおける危機とそのサインとして現われる様々な症状について 3 女性を取り巻く環境についての考察を行なう</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>女性のためのライフサイクル心理学 岡本祐子・松下美智子編 福村出版 その他、資料を準備します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業では、主に女性のライフサイクル上の課題と臨床的に生じやすい問題を扱います。具体的な症例を扱いながら、臨床的なアプローチの方法と、女性を取り巻く環境とその問題点について学びます。学生の皆さんは、自分自身の問題や、生活、家族について、考えるきっかけを得る事とおもいます。意見交換・討論への積極的参加を期待します。</p> <p>授業でとりあげる内容 幼児期 女の子として生まれること 幼児期の問題 母親と子供の関係 児童期 性別の認知と受容 学校生活 友人関係 家族 思春期 体と心の変化 他者との出会い 反抗期の問題 家族との関わり 青年期 自分らしい生き方を求めて 若い成人期 仕事 結婚 母親になること 若い夫婦の抱える問題 中年期 心身の変化とアイデンティティー危機 老年期 老化と病気のちがい 役割の変化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点 レポート</p>	

【授業科目名】 心理統計Ⅰ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解する。 記述統計学の習得。電卓の有効な操作と、統計値の求め方の習得。	
【テキスト】 テキストとして下記のものを用いる。 <p style="text-align: center;">「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 (サイエンス社)</p> <p style="text-align: center;">6章まで 7章以降は心理統計Ⅱで使われる。</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1章 統計法と測定値</p> <p>2章 度数分布と統計図表</p> <p>3章 中心傾向の測度</p> <p>4章 得点の散布度</p> <p>5章 正規分布と相対的位置</p> <p>6章 直線相関と直線回帰</p> <p>授業では電卓を用いる。使用する電卓は、数値を入力することによって簡単な統計値を算出することのできる機能を持ったものであり、機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに、指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。また、試験の際にも使うことができる。</p>	
【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目名】 心理統計Ⅰ	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。特にこの授業では、記述統計学の習得に重点を置くとともに、電卓の使用法も併せて習得する。	
【テキスト】 授業で使用する電卓の機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は他の授業でも頻繁に用いる。	
【参考書】 「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内 光哉著 サイエンス社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について 統計計算機の使い方 2、統計法と測定値 さまざまな変数、測定操作、加算記号とその規則 3、度数分布と統計図表 量的変数における級間の幅と級間数の決め方 質的変数の度数分布 4、度数分布図と統計図表の書き方 質的変数の図示法、量的変数の図示法、統計図表の書き方、見方 5、中心傾向の測度 測度とは――平均値、中央値、最頻値 測度の比較、調和平均 6、得点の散布度 散布図の概念、四分領域、分散と標準偏差 質的データの散布度 7、正規分布と相対的位置 正規分布、標準正規分布、z値、パーセンタイル点 8、直線相関と直線回帰 2変数の相関と回帰 相関係数と決定係数 相関と予測、回帰と推定 	
【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。参考書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得する。</p>	
<p>【テキスト】 テキストとして下記のものを用いる。</p> <p style="text-align: center;">「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 （サイエンス社）</p> <p style="text-align: center;">7章以降</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>7章 母集団と標本</p> <p>8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語</p> <p>9章 2つの平均の差の検定と区間推定</p> <p>10章 分散分析入門 1要因の場合</p> <p style="padding-left: 2em;">(11章 より複雑な分散分析 要因計画)</p> <p>12章 カイ2乗検定</p> <p style="padding-left: 2em;">(13章 順位による統計法)</p> <p style="padding-left: 2em;">(14章 ピアソンの r の検定と種々な相関係数)</p> <p>8、9、10、12章を重視して授業を行う。従って11、13、14章は授業の進行に応じて行う</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験にペーパーテストを行う。</p>	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方と、使い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。	
【テキスト】	
【参考書】 「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内 光哉著 サイエンス社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏差と不偏標準偏差、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。 2、母集団と標本 母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量標準誤差－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること 3、統計的仮説の検定と区間推定 統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性 母分散がわかっている場合の仮説検定 母分散がわからない場合の仮説検定、自由度とは何か 平均値の区間推定－母集団の平均値はどれくらいか 4、2つの平均値の差の検定と区間推定 独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 5、分散分析入門－1要因の場合 分散分析における仮定 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合） 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合） 6、より複雑な分散分析－要因計画 要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈 7、カイ2乗検定 カイ2乗を用いたさまざまな検定 独立性の検定－生まれ順は政治的態度と関係があるか 比率の等質性の検定－2つの集団の年齢分布は等しいか 	
【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。参考書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。	

【授業科目】 情報処理 I	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>電子メール、インターネットによる情報検索の実習を通して、ネットワークを利用して情報を収集する技術を学ぶ。また、ワープロソフトを使つての文書作成・編集を通して情報をわかりやすく表現する技術を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを使い始めるにあたっての説明 コンピュータの各部分の名称、使い方、フロッピーディスクについての説明。 ログオンとログオフ、IDとパスワード。 2. 文字の入力 漢字変換、カタカナ、アルファベットの入力の仕方。 簡単な文章の入力。 3. ネットワークの活用 WWWによる情報検索、電子メールの利用。 4. ワープロソフトの利用 文字の挿入、削除、移動。 文書の保存、呼び出し。 印刷の仕方、印刷スタイルの設定。 文字サイズ、文字飾りなど。 5. ビジネス文書の作成 ビジネス文書の形式。 6. ビジュアルな文書の作成 文書中への図・絵の取り込み。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、および授業中におこなう課題。</p>	

【授業科目】 情報処理 I

【担当者】 森田 信一

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

どんな仕事においても、情報処理技術が導入されていて、それを扱う知識と技術がいろいろな場面で必要となっている。心理学領域においても、各種データの処理にコンピュータはなくてはならない道具となっている。情報処理 I では、こういった情報リテラシー（活用能力）を身につけるための基礎的な知識と技術を扱う。

【テキスト】

ここからの情報リテラシー

【参考書】

授 業 計 画

コンピュータそのものの扱いについて学習するとともに、ネットワークに接続された形でのコンピュータの利用方法についても知識が必要となる。

そこでまず、ネットワークに関する知識とその利用を修得する。ユーザ名やパスワードを設定して、ネットワークへのログオンを行い、インターネットの利用と電子メールを使えるようにする。サーバーを利用して教材を入手したり、課題を提出する方法についても、ここで解説する。

またここでは、インターネットと電子メールを利用する上での注意点やマナー、権利やプライバシーの問題についても解説する。

次に、レポート作成を始めとして、今後必要となる文書作成について学習する。ソフトウェアとしては、ワードプロセッサを中心として、文字の入力と編集について実習し、表や図形なども含めた各種文書処理を修得する。

【評価方法】

実習の機会が多くなるので、出席を重視し、課題の提出なども含めて、平常点によって評価する。

【授業科目】 情報処理Ⅱ	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>表計算ソフトを使った実習により、データを表に整理し、処理、グラフ化することで、数値データをわかりやすく表現する。データベース機能を使い。収集したデータを有効に活用することを学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの使い方 用語の解説、基本的な操作、データ入力の仕方。 2. データ入力 数値データの入力、計算（算術関数など）、罫線、セルの形式。 ワークシートの保存、呼び出し。 印刷。 3. グラフ作成 グラフの表示、グラフの種類、グラフの編集。 グラフの印刷。 4. データ処理 統計関数。 t検定、相関係数の計算。 5. データベース作成 データベースの説明。 データの入力。 データの並べ換え、データの抽出。 6. ワードプロ文書への貼り付け 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、および授業中におこなう課題。</p>	

司書科目（1年）

【授業科目】 生涯学習概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>教育の荒廃がいわれる現代では、改めて「教育」と「学習」との関係が問われている。この講義では、生涯学習とは何か、という問題を、教育思想の歴史的展開をおいながら、生活スタイルの歴史的変化などとあわせて検討し、生涯学習に関する基本的考え方を学ぶことにする。また生涯学習の具体的課題として、現在すすめられている教育政策をとりあげ、日本の現代社会における生涯学習の現状を明らかにし、参加者ととともに生涯学習のあり方について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>教育科学研究会・社会教育推進全国協議会編『教育、地方分権でどうなる』国土社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1, 生涯学習とは何か。</p> <p>a) 「学習」概念の成立とその歴史的展開</p> <p>b) 生活スタイルの変化と人間形成</p> <p>2, 生涯学習の具体的な課題</p> <p>a) 日本における生涯学習政策の展開</p> <p>b) 生涯学習の機会と制度</p> <p>c) 男女共同参画社会と生涯学習</p> <p>3, 「教養」の形成と生涯学習</p> <p>講義計画は、大きなテーマを中心としており、小項目については変更もありうる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価は、学期末のレポートを基本にするが、出席、講義内での簡単なレポートを参考に する。</p>	

[授業科目] 図書館概論	[担当者] 神立春樹
[開講期] 1年前期	
<p>[授業目標]</p> <p>図書館についての基本的ことがらを学び、基礎的知識をみにつける。 これを通じて、図書館の在り方、その将来について考える。</p>	
<p>[テキスト]</p> <p>使用しない。 ただし、授業期間中に図書を指定し、レポートを作成させる。図書は新書版程度のものとし、授業進行中に選定する。</p>	
<p>[参考書] 河井弘志編『図書館概論』（新編図書館教育史料集成 1） 教育史料出版会 1998年</p>	
授 業 計 画	
<p>1 図書館の意義</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 図書館の定義 (2) 図書館の意義 (3) 図書館と社会</p> <p>2 図書館の機能</p> <p>3 図書館の構成要素</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 図書館資料 (2) 図書館職員 (3) 図書館施設 (4) 図書館利用者</p> <p>4 図書館の種類</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 国立図書館 (2) 公共図書館 (3) 大学図書館 (4) 学校図書館 (5) 専門図書館 (6) その他図書館 (7) 図書館類縁機関</p> <p>5 図書館の展望</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>授業参加度による平常点・レポート・テストの総合判定</p>	

【授業科目】 図書館経営論	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1年 後期 (後半)	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>『図書館・情報センターの経営』 (勁草書房 情報学シリーズ4)</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。</p> <p>(1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の基本理念 2. 新しい生涯学習の提起 <p>(2) 図書館をとりまく社会の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後の図書館 2. 図書館の新しい時代—60年代後半から70年代 3. 図書館の発展途上に現れた80年代以降の重大な変化 ——子ども・若者の図書館離れと要求の変化 <p>(3) 情報化時代の図書館</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子供の遊びと図書館 2. ヤングアダルトへの対応 3. 主婦層への対応 4. 映像・音響文化の提供 5. 施設・設備のありかた <p>(4) アメリカの図書館運営の特徴と日本の図書館運営の問題点</p> <p>(5) 白梅学園短大図書館の歩みから——運営とサービス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と情報検索の基礎を学びます。コンピュータを使っての情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「これからの情報リテラシー—課題で学ぶ基礎的情報処理—」 樹村房 (情報機器論と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本 ・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 2. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
【評価方法】 ネットワーク上での実技試験を行います。	

【授業科目】 図書館資料論	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>利用者に資料・情報を提供するの図書館の重要なサービスの一つである。そのサービスを支えている図書館資料全般について学ぶ。そして関連する出版流通、法規などにも言及する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>図書館資料論（新・図書館学シリーズ7）平野英俊他著 樹村房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 新図書館資料論（現代図書館学講座2）河井弘志編著 東京書籍</p> <p>図書館資料論（JLA図書館学テキストシリーズ7）馬場俊明編著 JLA</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>図書館資料とはなにか</p> <p>図書館資料の種類と特徴</p> <p>印刷資料 : 図書、逐次刊行物、その他</p> <p>非印刷資料: マイクロ資料、映像資料、その他</p> <p>コレクション構築</p> <p>資料選択</p> <p>資料収集</p> <p>コレクション評価・再編</p> <p>図書館資料の収集等をめぐる問題</p> <p>出版流通</p> <p>関連法規</p> <p>図書館協力</p> <p>収集・提供と図書館の自由</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート提出、平常点</p>	

【授業科目】 資料組織概説	【担当者】 椎葉倅子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館が収集・蓄積した資料を、利用者が自在に利用出来るような方策を学ぶ。即ち、目録法、主題目録法、分類法などである。情報化時代を迎えた現在、図書館にもコンピュータが導入されて、組織法も影響を受けている状況にも言及する。</p>	
<p>【テキスト】 資料組織概説（新・図書館学シリーズ9）大城善盛ほか著 樹村房</p>	
<p>【参考書】 日本目録規則 1987年版 改訂版、日本十進分類法 第9版、基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版（図書館、教養科資料室所蔵）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館の所蔵する豊富な図書館資料——一例を本にとれば、どのように書架に本を並べれば利用しやすいか。また著者や書名が分かっている本が図書館に所蔵しているか、〇〇についての本にはどんなものがあるか、を調べるには目録による。——を利用者に提供するための方策を学ぶ。具体的には以下の事項である。</p> <p>資料組織の意義・機能</p> <p>目録法：日本目録規則 1987年版を中心に</p> <p>主題コントロール</p> <p>分類法：日本十進分類法を中心に</p> <p>件名目録法：基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版 を中心に</p> <p>その他：シソーラスなど</p> <p>書誌データベース</p> <p>書誌ユーティリティー、標準化など</p> <p>（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・テスト・レポート提出</p>	

【授業科目】 資料組織演習	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>資料組織概論と関連づけて各論が理解できるように演習する。具体的には、図書の組織化――目録、分類、主題分析――を行う。また、外部の書誌データを使う際の問題も考える。そして図書館内での目録利用について利用者にサービス出来るようにする。</p>	
<p>【テキスト】 資料組織演習（新・図書館学シリーズ10） 岡田靖他著 樹村房</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>目録：記入作成、カード・データ形式により基本的書誌データを学ぶ。 日本目録規則1987年版 改定版による。</p> <p>分類：日本十進分類法第9版による。</p> <p>件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目をあたえる。 以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する。</p> <p>コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。</p> <p>目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。</p> <p style="text-align: center;">（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">課題提出及び出席平常点</p>	

【授業科目】 児童サービス論

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1年 前期 (集中)

【授業目標】 人生の人格形成期において、児童はその基盤をなす最重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍をどのように読ませればよいかという問題を精神文化の側面から考察する。時間僅少(1単位)のため、館内のサービス・テクニックについては、ふれない。

【テキスト】 講義資料を配布する。

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

〔講義概要〕

1. 人間の言語活動
2. 「読む」ことの意義
3. 少年少女期の特性と読書傾向
4. 児童図書としての良書とは何か。
5. 読書指導と選書の方法
6. 児童図書の実状(実態調査をふくむ)

【評価方法】 筆記試験(ノト・講義資料参照可)

【授業科目】 図書及び図書館史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1年 後期 (前半)	
<p>【授業目標】</p> <p>図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣） 石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。</p> <p>第1章 日本一近代以前の図書と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 紙の移入と書写の始まり (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生 (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立 (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり <p>第2章 日本一近代以後の情報化の発達と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代図書館の発生一公立図書館の二つの道 (2) 日本資本主義の発達と図書館一公立図書館の定着 (3) 大正デモクラシーと図書館一臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館 (4) 軍国主義体制下の図書館一思想言論の抑圧・戦争の被害 (5) 敗戦後の図書館一図書館の自由に関する宣言の採択 (6) 民衆のための図書館へ一日野図書館のスタート・自治体行政の前進 (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メールの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「これからの情報リテラシー—課題で学ぶ基礎的情報処理—」 樹村房 (情報検索演習と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータの仕組み ・ キーボードリテラシーの養成 2. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子メールの仕組み ・ 電子メールによる情報交換 ・ World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 3. コミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワードプロセッサの編集機能の活用 ・ 情報の保存と活用 ・ 思考ツールとしてのワードプロセッサの活用 ・ プレゼンテーションツールの活用 	
【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出してもらいます。	

特別選択科目（1年）

【授業科目名】 時事・社会特講	【担当者】小林 洋子、吉田 豊明、今井 博
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 自立し社会参加するためには、職業に関する正確な知識と他者とのコミュニケーション能力が必要である。しかし、一般的には、企業や政治、国際社会の出来事は、それほど身近なことではない。最近ではマスメディア、インターネット等によって情報を集めることが出来るが、正しい解釈を得るためには、体系的な学習が必要である。</p> <p>この授業では、社会参加に必要なコミュニケーション能力を高めるための知識と、企業に関する正確な分析能力、社会の出来事に関心を持ち、日々伝えられる社会情報を考える能力を身に付けることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキストは特に指定しないが、参考文献等を授業の進行に応じて適宜指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>1、職業選択とコミュニケーション（担当：小林 洋子） 学生と社会人の違い、行動と責任、組織とチームワーク、 職業選択と自己啓発、企業側就職担当者の視点 コミュニケーションの基本 交流分析とは、エゴグラムで自画像を知る、自己改善への気づき、他者への関心 印象をつくりだすもの、さわやかな自己表現のポイント 非言語的メッセージの読み方、コミュニケーションの目的 傾聴の技術、対面コミュニケーションの実習 ストローク理論による勇気づけ</p> <p>2、経済構造と企業の話（担当：吉田 豊明） 企業の過去、現在、未来 企業情報の集め方 企業と国際社会 雇用と保険、年金</p> <p>3、現在社会と時事問題（担当：今井 博） 現代社会の常識（国内問題） 現代社会の常識（国際問題） 新聞の読み方 文化の時事問題</p> <p>4、全体での討論とまとめ</p>	
<p>【評価方法】 平常点を重視して評価する。</p>	

【授業科目名】 労働・健康特講	【担当者】 木元 稔
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 社会に参加するために必要な、労働および労働衛生・健康に関する知識を学ぶとともに、福祉援助学科で必要な科目を修める者は、中高年齢者の生きがいづくりをと社会参加を、コンピュータ等の情報収集技術を駆使して支援する「生きがい情報士」の資格取得を目指す。	
【テキスト・参考書】 生きがい情報士養成テキストⅠ（基礎知識・事例編） 生きがい情報士養成テキストⅡ（技術編）	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、健康と生きがい 現代社会と生涯発達 2、社会参加 社会参加、ボランティア 3、就労 労働需給、年金財政と所得保障、企業の中高年対策、能力開発と自己啓発 4、健康づくり 生活習慣病、健康情報、健康づくり施策、生活習慣の評価、ストレス 5、余暇 生涯学習社会と余暇、余暇生活設計 6、経済金融相談 雇用保険、医療保険、税金、年金 7、健康相談 食生活、運動と休養、喫煙・飲酒、生活習慣病 8、福祉相談 福祉ニーズと福祉サービス、介護保険 9、相談援助技術 自己覚知、社会資源の活用（人間の基本的欲求） 10、集団参加援助技術 コミュニケーション技術 11、地域参加援助技術 活動領域、住民組織、グループ組織援助 12、調査・広報技術 ニーズ把握、広報技術 13、イベント技術 14、ライフプラン技術 	
【評価方法】 テストにより評価	

【授業科目名】 家庭介護総論	【担当者】 中山幸代、明度陽子、八木紘一郎 佐野英司、秋山治子
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 福祉の理念を理解するとともに、ヒューマンケアサービス（対面的対人援助）に必要な技術、特に、家庭における介護の技術を学ぶ。家庭介護技術には、老人・障害者の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し、家族を含めた相談援助も含まれる。この授業では、これら家庭における介護を行なうに必要な知識と技術が習得できるように講義を進める。 この授業と、「家庭介護演習」「家庭介護実習」を習得することによって「ホームヘルパー2級」の登録資格を得ることが出来る。	
【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、福祉理念とケアサービスの意義 2、サービス提供の基本視点 3、老人福祉の制度とサービス 4、障害者（児）福祉の制度とサービス 5、ホームヘルプサービス概論 6、ホームヘルパーの職業倫理 7、障害・疾病の理解（1） 8、高齢者、障害者（児）の心理 9、障害・疾病の理解（2） 10、高齢者、障害者（児）等の家族の理解 11、介護概論 12、相談援助とケア計画の方法 13、医学の基礎知識 I 14、在宅看護の基礎知識 I 15、住宅・福祉用具に関する知識 16、共感的理解と基本的態度の形成 17、リハビリテーション医療の基礎知識 	
【評価方法】 試験によって評価する。	

【授業科目名】 家庭介護演習	【担当者】 関谷 榮子、大槻 恵子、本田 直子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対面的対人援助）に必要な技術、特に、家庭における介護の技術を実際に学ぶ。 この授業と、「家庭介護総論」「家庭介護実習」を習得することによって「ホームヘルパー2級」の登録資格を得ることが出来る。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>基礎介護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴等の生活の介護 ・ 肢体不自由者の歩行の介護 ・ 視覚障害者の歩行の介護 ・ ベッドメイキング ・ 緊急時の対応法 ・ 援助者の健康管理 	
<p>【評価方法】 実技等の試験によって評価する。</p>	

【授業科目名】 家庭介護実習	【担当者】 西方 規恵、吉沼 孝子
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対面的対人援助）に必要な技術を、施設及び在宅介護の現場で実習する。 この授業と、「家庭介護総論」「家庭介護演習」を習得することによって「ホームヘルパー2級」の登録資格を得ることが出来る。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、施設等における実技講習の内容 施設介護の現場実習 2、在宅介護現場訪問と業務実習 一般住宅における介護と業務実習 3、在宅サービス提供現場見学 デイサービスセンター在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等 	
【評価方法】 実技等の試験によって評価する。	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 総合英語Ⅱ-1、2

【担当者】 川口淑子

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】

読解、作文、リスニングなど、総合的な英語力を伸ばすことを目的とする。

【テキスト】

Chicken Soup for the Soul (Jack Canfield, 金學堂)

【参考書】

必要に応じて紹介する。

授 業 計 画

物語としても面白いエッセイを読みながら、英語の基本事項を確認し、応用を目指す。

授業では、リスニングや基本的な作文などを行い、読解力はカリリではなく、実用性のある英語能力を養う。

テキストの他に、要望を考慮して、補助的な教材を用いる予定。

【評価方法】

平常点、試験などから総合的に評価する。

【授業科目】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 小松香織
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>いろいろなテーマで書かれた英語の文章を読んで、語彙、イディオム、文法的要点を学習しながら、内容読解力の向上を目指す。世界の身近な話題に接することで、グローバルな視野を養っていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>MINI-WORLD 2000—Special Textbook Edition</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業で指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回の授業で、1章ずつ進んで行く予定である。各自しっかり予習をして、授業に出ること。授業では、語彙や文法的要点をチェックし、精読、あるいは、速読して、大意をつかみ、練習問題で内容理解を確認する。最後にまとめとして、そのテーマについて、質問や意見を発表してもらおう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業参加態度、平常点、提出物、定期試験等によって総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 東郷裕
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間の心理の興味深さ、またその難しさを英文から読み取り、人種や国境を越えた普遍的な問題として考えていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;"><u>We're Only Human</u> (三修社)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的にはテキスト中心に授業を行うが、テキスト以外で興味深い題材があれば、随時コピーして配布したい。授業の中では自分の意見や立場、考えなどをはっきりと述べ、議論が活発になることを希望したい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テストと日ごろの提出物によって評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ-1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今までに培ってきた英語の基本的技能を、コミュニケーションな面を中心にバランスよく向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 Inside Stories U. S. A. (ビデオで学ぶアメリカ文化) (SEIBIDO)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>年間を通して、ビデオ教材を使って楽しくスムーズに、リスニングと内容理解の勉強を進めていきたい。テキストはビデオを見ての内容理解のための問題、書き取り、会話練習などで構成されている。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのニュースを扱っていて、出来れば1回の授業で一つのユニットというペースで進めていきたいので、学生は十分な予習の上、毎回の授業に出席してほしいと思う。</p> <p>*授業の進め方</p> <p>ビデオを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題をやっていく。問題を皆で解決した後には、必ずどれかを提出してもらおう。学生は“自分が主役”という気持ちでいつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらおう練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度（発言、質問への応答）と共に、最後の成績の主なポイントとしたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2 英語	【担当者】 及川 学
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>短文の英訳と和訳を通して留学、旅行に役立つ表現を身につけていく。読解力は随時プリントで補う。</p>	
<p>【テキスト】 海外留学・旅行表現英作文（南雲堂）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>第1週:授業の進め方の説明 第2~3週:1課、2課 第4~5週:3課、4課 第6~7週:5課、6課 第8~9週:7課、8課 第10~11週:9課、10課 第12~13週:11課、12課 第14~15週:13課、14課 第16~17週:15課、16課 第18~19週:17課、18課 第20~21週:19課、20課 第22~23週:21課、22課 第24~25週:実戦テスト</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期、後期の試験、数回のレポート、単語ノートの提出をしてもらい総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2 英語

【担当者】 長尾主税

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】

4年制大学の編入試験に対応できる能力を身につける。

【テキスト】

開講時に指示する。

【参考書】

授 業 計 画

4年制大学への編入試験は、専攻する科目の試験、小論文、面接などに加えて英語の試験が課せられる場合がある。他はうまくいったけれど英語が障壁になった、という事態を招かないよう準備をしなければならない。

試験は、大学によって入学試験とまったく変わらない出題の仕方をするところもあるが、おもに総合的な読解問題である。長い文章を読みとけるよう基本的な文法をおさらいし、一定量の文章を、訳さず全体の内容を理解できるように訓練する。

英語が苦手な人も、努力と訓練如何でしっかり読めるようになるということを実感していただく。目標を達成するために意欲を持って授業に望んでいただきたい。

【評価方法】

平常点および学期末の試験の成績によって評価する。

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2 独語	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期・後期	
【授業目標】 1. ドイツ語の基礎を復習しながら、簡単な会話と文法、表現の仕方などを発展させる。 2. 現代ドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。	
【テキスト】 "Nach Deutschland"を使用する。 その他については開講時に説明する。	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】	
授 業 計 画	
1. 音声訓練と表現――ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。 2. ドイツ語会話――会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。 3. ドイツ語の文構造理解――基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。 4. 文化理解――ドイツで作られたスライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。 5. 文章理解――辞書を使って、やさしいドイツ語の童話などを読んだりして、ドイツ語の文に慣れる。 【授業方法】 1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。 3. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。 4. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動をして、ドイツの対しての正しい知識と理解を得る 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気ですべての学習ができるようにする。	
【評価方法】 学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で評価する。	

【授業科目】 選択語学Ⅱ-1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>いくつかの映画のシナリオを教材にして、映画からフランス人の心や文化、歴史を学んでいきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>-----《Si-on-allait-au-cinéma》---川合ジヨルジエット---白水社-----</p> <p>【参考書】</p> <p>《3 hommes et un couffin》, 《Jeux interdits》, 《Diva》etc.</p>	
授 業 計 画	
<p>教科書には4つの映画のシナリオがあります。</p> <p>『サンドイッチの年』『ニキータ』『愛さずにはいられない』『ロミュアルドとジュリエット』です。</p> <p>その他に、『赤ちゃんに乾杯』『禁じられた遊び』『ディヴァ』の3作品のシナリオを用意しています。そのシナリオはコピーして皆さんにお渡しします。どの作品も心を打つものばかりです。一緒にフランスの心を味わいましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポート提出</p>	

專門教育科目（2年）

【授業科目名】 発達心理学II	【担当者】 林 潔
【開講期】 2 年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>今日の青年期の人々の特徴と行動様式についてとりあげます。 あわせて、人間の問題に対する心理学の基本的アプローチの方法について考えます。 これについては、関係する授業も他にありますので、この時間では青年期の問題についての精神分析的アプローチの紹介に3講時ほどとりたいと思います。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しません 指定図書：割り当てられた週に利用して下さい。 図書館に指定図書を何種類か、用意してあります。 1週間借り出して、簡単な内容紹介と、感想文をレポート1枚程度にまとめて出して頂きます。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 序：青年心理学の背景：心理学の発展とその応用面への適用。 2. 発達段階としての青年期。 3. 発達課題と自我同一性 (identity) 4. レビュー 人間の問題へのアプローチ：学習理論，ゲシュタルト理論 5. 精神分析概説(1)：Freudの思想， 6. 同 (2)：Libidoの発達 7. 同 (3)：自我の防衛 8. 適応障害：青年期の適応障害の概観 9. 講演会：心理学科卒業生「心理学と私」(仮題)：特別講師 10. 青年期の問題行動：神経症，自殺，非行 11. 同 : うつ 12. 青年期の問題への対処：カウンセリング，心理療法の役割(1) 13. 同 (2) 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点，中間試験，期末試験で評価を行います。</p>	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	専任教員 他
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	<p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>		
【テキスト】	<p>【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。</p>		
授 業 計 画			
<p>指導教員が提示したテーマのうちから一つを選び、原則としてグループごとに研究を進めていきます。</p> <p>前期の「心理学研究演習」では、専攻研究に関する文献の購読や予備調査などを行い、後期の「卒業研究」で本格的なデータ収集作業、統計処理などを行うのが一般的です。</p> <p>研究成果は1月の「卒業研究発表会」で心理学科の内外に向けて発表されます。また、研究報告書(レポート)は個人ごとに作成し、後期末に提出します。</p> <p>研究テーマの決定方法などについては、前年度の卒業研究発表会の前後に掲示による説明があります。</p> <p>次のページ以降に、担当教員の提示したテーマを掲載します。</p>			
【評価方法】	<p>出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>		

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 荻野七重・小林玄
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 幼児・児童期の発達心理学</p> <p>幼児期及び児童期の子供の発達に関わる研究を進めていきます。テーマは、子供の行動特性を親子関係、兄弟関係、友人関係と関連づけて考察したり、認知能力の質的变化を検討していく予定です。</p> <p>また、最近、学級崩壊、学習障害、ADHDなど、学校心理学においてクローズアップされているトピックスも取り挙げていきたいと考えています。</p> <p>基本的には、興味あるテーマを自主的に研究していく姿勢を歓迎します。</p> <p>2. 記憶に関する実験的研究</p> <p>前期の心理学研究演習で、記憶についての基礎的な知識、どのような研究があるか、実験手法等の学習をします。また、この課程を通じて、後期の卒業研究に向けて、少しずつ、研究領域を限定していきます。</p> <p>卒業研究では、小グループで、一つのテーマについて実験を計画し、実施します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 金子尚弘・寺田雅英
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>3. 応用行動分析 1</p> <p>行動は、弁別刺激－自発的反応－強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は、人それぞれで個性的であり、その違いが人の世を変化に富んだ楽しいものに行っているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活での一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを、実験動物や、ヒトを用いた実験で考えてみます。</p> <p>4. 応用行動分析 2 (自閉症児)</p> <p>自閉症とは同じことを繰り返し行ったり、言語発達に遅れがあり、他人への関心を持たない子どものことです。コロロETセンターは、このような自閉症児の治療教育を行っている施設です。演習では、3～4名のグループに分かれて、毎週水曜日から土曜日の午後、そのような子どもたちと一緒に勉強をします。昨年度は、3人の子どもと、挨拶のことば、買い物、暗算を勉強しました。そこで、前期は、昨年と同じことを子どもと勉強することで、行動分析学な療育方法を学び、後期はそれぞれの子供に合わせて学習計画を立て、半年間の成長を卒業研究としてまとめます。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	神田信彦・富田真紀子
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	<p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>		
【テキスト】			
【参考書】	必要に応じて、指導教員が指示します。		

授 業 計 画

5. 高対人不安者の行動パターンの研究

誰でも時には人前にでると緊張が強くなり、思っていたとおりに話すことや行動することができなくなる場合があります。中にはいつもそうなってしまう人もいます。また周りから見ると全くそうは見えない人でも、実は内心では非常に緊張していると報告する人もいます。

こうした事実や特徴は「対人不安」が背景にあると考えることができます。授業では「対人不安」という概念を理解し、それがどうして生起するのかを説明する理論について学習します。それをもとに実験や調査によって対人不安の高い人の行動パターンを明らかにします。

6. 健康問題における人格的特性に関する研究

現代の高齢化社会では、単に長く生きるだけでなく、より快適に健康に過ごせるということが重要です。そのためには人々が積極的に自分の健康を維持・増進するための行動をとることが必要となります。しかし、同じような状況におかれていたとしても、行動の実施には個人差が存在します。この個人差を考えるには心理学的要因が重要であると思われます。この心理学的影響についての理解を深めるために健康問題に関するさまざまな理論を学ぶとともに、質問紙調査によって研究をしていく予定です。

【評価方法】

出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 金愛慶・松尾和美
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>13. ストレス対処法と精神的健康との関連の検討</p> <p>「ストレス」は現代社会を代表する言葉の一つで、大人から子供まで「ストレスがたまる」という言葉口にするなど、ストレスは我々の生活に染み付いているようです。また、「癒しグッズ」が不景気の中でも売れ筋を示しており、現代人はストレスからの解放を求めて必死にもがいているようにみえます。</p> <p>2000年度の卒論のゼミでは「ストレス対処法にはどんな方法があるのか?」「現代人はどんなストレスを感じているか?」「そもそもストレスとはなにか?」などについての基礎知識を深めた上で、ストレス対処法(coping)と精神的健康との関連について検討することにします。</p> <p>14. 現代青年の友人関係</p> <p>現代は、手紙や電話に加えて、ケータイ・E-mailなどさまざまな通信手段が発達しています。そのため、いつでもどこでも即座に当人と連絡がとれるという便利さを手に入れました。また、機器の特徴を活かして、ベル友やメル友なる“会ったことはないけど気軽に何でも話せる友だち”という新たな交友関係さえ出現しています。</p> <p>通信機器の発達によって、いつもすぐにつながる友達関係、あるいは、深いつきあいになることを避けられる顔の見えない気軽な友人関係といったように、友人関係の持ち方が変わってきているのではないのでしょうか?</p> <p>そのような現代青年の友人関係の持ち方を研究してみたいと思います。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>7. メディアによる印象形成に関する研究 メディアの発達によって、人の出会いは直接的なものばかりでなく間接的なものも増えて来ています。文字によるコミュニケーション(たとえば電子メール)や、声によるコミュニケーション(たとえば電話)などは、直接的なコミュニケーションと比較してどのような違いがあるのでしょうか。これらのメディアを通った情報が、相手の印象を形作る上でどのような影響を与えるのかを実験を通して探ってみたいと思います。</p> <p>8. 言い訳の信憑性の判断に関する研究 何かまずいことをしてしまったとき、その理由を説明する必要があり、言い訳と呼ばれます。言い訳にあげた理由が真実であるかどうかは別にして、「それなら仕方ない」と思わせる「有効な言い訳」もあれば、「嘘に違いない」と思われてしまう「下手な言い訳」もあります。これらはどこで違ってくるのでしょうか。 言い訳の有効性をさぐることで、人のコミュニケーションでやり取りされる情報の信憑性の源を探してみようと思います。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 林潔・佐藤 健二
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>11. ストレスとストレス対処</p> <p>ストレスがなぜいけないか。それは人間の適応の前提である、ホメオスタシスの力を弱めるからだといわれます。</p> <p>ストレス研究は今日的テーマなので、この世界ではいろいろな研究がなされています。</p> <p>ストレス研究の領域で、3グループ程度に分かれて、テーマを絞っていきたいとおもいます。</p> <p>12. ストレスについて開示することに関する研究</p> <p>「ストレスに満ちた出来事を経験したときに、その出来事に関連する感情や考えを開示しないと心身の健康が悪化する、逆に、そうした感情や考えを開示すると心身の健康が増進する」という仮説が欧米で検討されています。しかしながら、我が国では上記の仮説がまだ十分には検討されていません。そこで、これまで行われた研究論文をよく読み、理論や方法を学んだ上で、上記の仮説について調べていきたいと思えます。具体的には、ストレスに満ちた出来事に関する感情や考えを話すことと心身の健康の関連を検討する調査研究、ストレスについて話したり筆記したりすることが心身の健康に及ぼす効果を検討する実験研究を行う予定です。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	多喜乃亮介・西村牧子
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	<p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>		
【テキスト】			
【参考書】	必要に応じて、指導教員が指示します。		

授 業 計 画

9. 潜在的（非言語的）認知過程の研究

私たちは普段何気なく生活している場面では、一つ一つの出来事を言葉に表して意識しているわけではありません。いつもと同じ机に向かっても「何か変だな」と感じて、注意深く見回してみるとノートの位置が微妙にずれていて「!」と思ったことはないでしょうか。多少なりとも似たような経験はあると思います。

どの程度の変化に私たちは気づくのでしょうか。知らず知らずに覚えていること、気がついていること、注意を向けてみて初めて気がつくこと、どれだけ注意深く見ても分からないことなど、私たちは色々な刺激に囲まれて生活しています。

果たして、私たちは身の回りで起こる出来事とどのようにつき合っているのか、言葉にならないところから考えていこうと思います。知らず知らずに影響を受けていること、うっかりしていたことなど、生活場面を観察する方法や、実験的に色々な合図を使って確かめてみるのが考えられます。希望者がある場合は、心拍や発汗といった身体反応、あるいは脳波上の変化を観察することも可能です。

10. 幼児期の人間関係

私たちは誰も幼児期を通りすぎてきました。しかし、なぜ子どもは夢中でごっこ遊びをするのか、なぜけんかしてもすぐに仲直りをするのか。また、彼らは「友達」をどのように捉えているのか。本当のところを私たちは分かっているのでしょうか？経験しているはずなのに分からない子どもたちの「こころ」について、実際に子どもたちを観察・調査することによって追究していきたいと思います。研究の方法としては子どもたちの動きを自然な状態で観察して分析する方法や親子の関係をアンケートによって調査する方法、子どもたちにちょっとした実験をしてもらう方法などがあります。どのような形態を採るかについては各自の目的にあわせて自主的に決めて頂きたいと思います。

【評価方法】

出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>投影法の心理検査を体験する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>資料配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>投影法とは、曖昧な刺激を提示しその刺激に対する個人の特有の反応を分析することによって、個人の精神内界の理解を深める心理検査法の一つである。</p> <p>投影法に様々な心理検査が開発されているが、臨床的心理診断に最も多く用いられるものとしてはロールシャッハテストがあげられる。</p> <p>本講義では、ロールシャッハテストの実施や解釈を授業中で実際に体験する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、討論への参加度、個人テーマのレポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 多喜乃 亮介												
【開講期】 2年 前期													
<p>【授業目標】</p> <p>人の脳活動を記録する方法のなかで、外側からまったく何も加えずに安全に測定できる方法は脳波記録である。心理学の分野では、この脳波記録を用いて人間の認知機能を理解しようと研究が進められている。この授業では、実際に脳波を記録することから始めて、脳波とはどのような現象なのかを学び、簡単な実験を行うことにより、外側からは見ることでできない人の脳活動に対する理解を深める。</p>													
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない</p>													
<p>【参考書】</p> <p>宮田 洋 他, 『新生理心理学』, 北大路書房, 1998</p>													
<p>授 業 計 画</p>													
<p>前半は脳波計の操作, および電極の装着方法の練習を行う。脳波と脳波以外の生体電気現象の違い, 外部のノイズなど, 記録を行う場合にどのような注意が必要か学習する。</p> <p>次に, 各自の脳波を記録して, 自発脳波の特徴, 意識水準と脳波の関係について学ぶ。</p> <p>最後に, 事象関連電位と呼ばれる反応の測定を行い, 人の認知機能を捉える測定手法を学ぶ。</p> <p>以下の項目に従って進めます。</p> <table border="0" data-bbox="169 1332 1309 1612"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>脳の構造, 脳波の発生起源, 記録上の注意点, 脳波計の操作</td> </tr> <tr> <td>2. 電極の配置と装着実習</td> <td>国際 10-20 法</td> </tr> <tr> <td>3. 自発脳波の記録</td> <td>安静時, 覚醒時, 睡眠時, 精神作業時</td> </tr> <tr> <td>4. 自発脳波の分析方法</td> <td>α 波, β 波, θ 波, 睡眠脳波</td> </tr> <tr> <td>5. 事象関連電位の記録</td> <td>標的の検出に伴う反応</td> </tr> <tr> <td>6. 事象関連電位の分析方法</td> <td>N100, P300</td> </tr> </table>		1. ガイダンス	脳の構造, 脳波の発生起源, 記録上の注意点, 脳波計の操作	2. 電極の配置と装着実習	国際 10-20 法	3. 自発脳波の記録	安静時, 覚醒時, 睡眠時, 精神作業時	4. 自発脳波の分析方法	α 波, β 波, θ 波, 睡眠脳波	5. 事象関連電位の記録	標的の検出に伴う反応	6. 事象関連電位の分析方法	N100, P300
1. ガイダンス	脳の構造, 脳波の発生起源, 記録上の注意点, 脳波計の操作												
2. 電極の配置と装着実習	国際 10-20 法												
3. 自発脳波の記録	安静時, 覚醒時, 睡眠時, 精神作業時												
4. 自発脳波の分析方法	α 波, β 波, θ 波, 睡眠脳波												
5. 事象関連電位の記録	標的の検出に伴う反応												
6. 事象関連電位の分析方法	N100, P300												
<p>【評価方法】</p> <p>出席し意欲的に取り組むこと25点, 電極の装着・脳波計の操作25点, レポート50点</p>													

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 大石千歳
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>質問紙調査法の概要と実施方法を学ぶ。実習形式で質問紙調査を行い、一連の手順を習得することにより、科学的・学術的なアンケート調査と、そうでない調査の区別ができるようになる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『心理学マニュアル 質問紙法』(鎌原・宮下・大野木・中澤, 1998. 北大路書房)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>質問紙調査法とは、心理学や統計学の知識に基づくきちんとしたアンケート調査のことです。マーケティング会社による市場調査や、広告代理店が行うCMの好感度調査、新聞社の世論調査などにも、質問紙調査が用いられています。この授業では、特定のテーマについて実際に質問紙調査を行います。無作為抽出による回答者のサンプリング、質問項目の作り方、集計や分析のしかた、結果の読み取り方、考察のしかた等の実習を行い、それらの結果をレポートにまとめます。世の中には様々な調査結果があふれていますが、中には信用できないものもあります。この授業に参加すれば、いい加減な「アンケート調査」にだまされない能力が身につきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストは行わず、レポートを提出する。グループ形式の実習なので、出席や、分担された仕事を責任もって行う姿勢を重視する。</p>	

【授業科目名】 心理学研究法 (カウンセリングの実際)	【担当者】 川島 真
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>カウンセリングは臨床心理学を代表するものとして多くの人たちが興味を持つようになってきました。しかし、なかにはカウンセリングのことを単なる“人助け”や“やさしくしてあげること”だと思っている人も大勢います。</p> <p>この授業では「実際に行われているカウンセリングとはどういうものなのか」、「心の専門家としてのカウンセラーは何をするのか」を中心に学んでほしいと思います。</p> <p>そして、特に次の点を目標とします。</p> <p>①カウンセリング・マインドを身につけること</p> <p>②カウンセリングはどんなところでどのように行われているのかを知ること</p> <p>③心の専門家としてのカウンセラーに必要な知識と技術とはなにかを知ること</p> <p>これらの他に、専門家としてのカウンセラーは今どんな仕事をしているのか、そして最近の日本では、どのような心の問題が起こっているのか、についても学んでもらいたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めず、必要に応じて授業時にプリントを配布します</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>授業はプリントやビデオを使って、わかりやすく具体的に進めていきたいと思います。また、少人数の授業であることをいかして、一方的な講義ではなく、みなさんの考えや感想をお互いに言い合いながら、全員が参加できる授業にしたいと考えています。</p> <p>カウンセリングに興味のある人やカウンセラーについて知りたい人はふるって参加してください。</p> <p style="text-align: center;">(授業予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カウンセラーの仕事 2 カウンセリング・マインドとはなにか 3 スクール・カウンセリング 4 福祉現場でのカウンセリング 5 カウンセリングの進め方 6 面接の実際－面接の進め方と面接の技法 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートを実施。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学研究法	【担当者】 草山 太一
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】 脳神経科学の研究法として、主として組織学的研究法について取り挙げる。生理心理学の分野では、組織学そのものを実験目的とすることはほとんどないが、損傷・電気生理・神経解剖など実験後の脳標本の検査として必要不可欠な方法である。この研究法では、実際にラットを用いて脳の標本を作る実習を行うことで、組織学的研究法を体験することを目的とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキストは使用しない。参考書は必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 講義（脳神経科学の研究法） 2 講義（組織学的研究について） 3 実習（ラットの脳摘出） 4 実習（脳のスライス標本作成） 5 実習（標本染色） 6 講義と実習（標本観察とまとめ） <p>*履修者の人数に応じて、講義内容に若干の変更あり。</p>	
<p>【評価方法】 平常点及びレポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 小林能成
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、バイオフィードバック法の理解と、実際の訓練の実施による訓練技法の修得を目的とする。講義・実習を通して、心と身体の関係についての理解を深めてほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>J. Hassett (平井久他訳), 「精神生理学入門」, 東京大学出版会, 1987 宮田洋 (監修), 「新生理心理学 2巻」, 北大路書房, 1997</p>	
授 業 計 画	
<p>バイオフィードバックとは、通常では認知し難い生体反応を、装置を用いて認知の容易な情報に変換して生体にフィードバックする方法である。この方法を用いて生体反応の自己制御を行うのがバイオフィードバック訓練である。</p> <p>授業では、まず最初にバイオフィードバック法の原理を解説した上で、次に実際の訓練を通じて機器の操作法や測定技術を身につけると共に、心と身体に関連性についての理解を深めてほしい。</p> <p>〈授業の予定〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心と身体反応の関連性 簡単な実験と講義 2. バイオフィードバックとは何か 基本的な原理を講義により解説 3. バイオフィードバック訓練の実施 幾つかのバイオフィードバック法についての実習 4. データの分析とまとめ バイオフィードバック訓練の臨床応例の紹介と方法の解説 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 佐々木 実
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】 20世紀の前半に開発された箱庭療法は、我が国には1965年に河合によって紹介され、その後たいへん普及している。その適応範囲も、当初の子どもの心理的治療に限らず、成人にも、そして自己理解のためにも用いられるようになってきている。</p> <p>この授業では、実際に箱庭を作ってみることからスタートし、各自の体験をもとに、箱庭を媒体にしたコミュニケーションの意味について参加者で議論をしながら考えていきたい。講義形式ではなく、体験と話し合いを中心に進めていきたいので、主体的な受講を求める。</p>	
<p>【テキスト】 特に指定なし。</p>	
<p>【参考書】 特に指定なし。</p>	
授 業 計 画	
<p>私（担当者）は、箱庭療法の専門家ではありませんが、毎日の臨床の中で、他の様々な媒体と同様に、箱庭を使ってクライアントさんとコミュニケーションすることは大切にしています。</p> <p>そこで、この授業では箱庭療法についての専門的な知識を講義するつもりはありません（できません）。ここでは、「箱庭」をひとつの媒体として捉え、それがどのような関係の中で作られ、共有されたときに「療法」になりうるのかについて、受講者各自の箱庭づくりの体験をもとに、みんなで考えてみたいと思います。</p> <p>授業内容は、概ね以下のようなになるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇オリエンテーション ◇箱庭づくりの体験 ◇体験をもとにした話し合い ◇時間が許せば、箱庭療法に関する理論や事例なども取り上げて、議論してみたい。 	
<p>【評価方法】 成績は、授業への参加姿勢とレポートにより評価します。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 菅沼真樹
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>* 調査面接法 *</p> <p>発達研究や質的研究において用いられる、調査面接の技法を習得する。質問事項の設定、面接場面でのやりとり、結果の整理といった一通りの手続きを実習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定はしないが、授業の中で適宜紹介していく。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>同上</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 面接法の概観</p> <p>臨床面接と対比させながら、調査面接の特徴を概観する。面接の目的によってどのような面接法を選択すればよいのか、また、実施するためにはどのような準備が必要なのか、などについて学んでいく。</p> <p>2. 調査面接の実習</p> <p>面接者、被面接者役を体験する中で、実施上の面接技法を体得することを目指す。参加者は、各自、面接実習を行い、その面接でのやりとりのテープ起こしを行う。それを素材に、どのような面接姿勢が望ましいのかなどについて、実習をふりかえる中で考えていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（授業での発表を1人1回、必ず行う）</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 中丸 茂
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>行動の定義、測定、予測、制御を実際に実習形式で行いながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的とする。また、行動分析学の方法を、日常生活や臨床場面、コーチングなどへ応用する力も養う。</p>	
<p>【テキスト】 講義時にプリントを配布（書き込み形式）</p> <p>*講義終了時には、行動分析学の自分だけのテキストが出来上がる</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 アルバートら 1992 はじめての応用行動分析 二瓶社</p> <p>super string SR21 1995 「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社</p> <p>杉山ら 1995 行動分析学入門 産業図書</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。その分析単位は、環境と行動についての時間的、空間的關係（随伴性）であり、様々な現象に対して、客観的なアプローチを行っている。</p> <p>本講義は、基礎知識の取得期（講義）とその応用（実習）という2つの形式をとる。前半は、俗信行動（占い、相性、心霊現象）や情動行動（恋愛）などをテーマとして、実験行動分析を中心に講義を行い、後半は、ダイエットや遅刻をなくすなど、各受講者の希望にあわせて、応用行動分析の方法を身につけてもらう。</p> <p>【行動分析学の基礎知識】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学って何？ あの世は科学の対象になるか？ 死人に口なし！！ 2. 三項随伴性 恋人が冷たくなるとなぜ不機嫌になるのか？ 3. 迷信行動 当たるも八卦当たらぬも八卦？ 4. 情動行動 ヒトはもちろんのこと、ラットやハトも嫉妬する？ <p>【応用行動分析】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 行動目標 客観って何？ 6. 行動観察法 ヒロちゃんはマイクを何回持ち替えるか？ 7. 実験計画法 なにが行動を制御してるのか？ 8. 査定 行動分析学に統計の知識はいらない？ 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート 1. 行動観察法 実習</p> <p>2. 応用行動分析（パフォーマンス・マネジメント）</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 若山隆良
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 描画法を体験し、描画の象徴的理解について学ぶ	
【テキスト】 プリントを配布可	
【参考書】	
授 業 計 画	
描画の 1. 象徴的理解について 2. バウムテスト 3. 風景構成法 3. スクエグール 4. その他の描画法	
【評価方法】 ・授業中の発言とレポートによる	

【授業科目名】	社会心理学	【担当者】	倉澤寿之
【開講期】	2年後期		
【授業目標】	他者がいることによって受けるさまざまな影響や、他者との間に起こるさまざまな心理学的プロセスを学び、他者と自己とのかかわりについて理解を深めます。		
【テキスト】			
【参考書】	特に指定しません。		
授 業 計 画			
<p>1. オリエンテーション・社会心理学とは 授業の方針や講義の概要について説明します。</p> <p>2. 他者がいることによる効果・社会的促進と抑制 他者がそばにいるというだけで、私たちは非常に多くの影響を受けているのですが、ふだんあまり気づくことはありません。そういった隠れた影響について話します。</p> <p>3. 他者をどう見るか(1)印象形成 他者から受ける印象がどのように出来上がっているのかを考えます。</p> <p>4. 他者をどう見るか(2)原因帰属 他者の行為を見たとき、私たちはその人がなぜそのようなことをするのかという原因を考えようとします。そのメカニズムについて考えます。</p> <p>5. 自分を見つめる・自己意識 「自分」を意識することは、他の動物にはほとんど見られない、人間だけの特徴です。この自己意識が私たちの行動とどのようにかかわっているのかを見ていきます。</p> <p>6. 自分を知る・自己知覚 「自分のことは自分がいちばんよくわかる」と思っているものですが、果たしてそうでしょうか。私たちが自分のことを知るようになるプロセスを考えてみます。</p> <p>7. 自分を見せる・自己呈示 「自分が他者からどのように見えるか」は誰にとっても気になるところですし、実際私たちは意識的にも無意識的にも他者からの見え方をコントロールしようとしています。そのための数々の「技」(?)をご紹介します。</p> <p>8. グループを作る・リーダーシップ 集団で何かをするとき、リーダーの存在は非常に重要です。リーダーシップについて考えます。</p> <p>9. 人に近づく、離れる・空間行動 私たちが他者との間に無意識的に維持している距離の意味を考えます。また、動物と同じような「なわばり行動」についても紹介します。</p> <p>10. 人を好きになる・好意の成立 人を好きになるのはなぜか、好きになってほしいとしたらどうしたらよいかについて、実験データをもとに考えます。</p> <p>11. 人を信じる・ヒューリスティックス 他人からもたらされた情報を、私たちがいかに正しく、客観的に評価できないかということをお話しします。</p> <p>途中、中間テストを2回か3回行います。</p>			
【評価方法】	<p>マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)</p> <p>規定回数以上出席しなかった場合、期末試験の受験資格を与えません。</p>		

【授業科目】 性格心理学	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】 「性格とは何か？」 「性格心理学の分野では何を研究しているのか？」 「性格心理学での研究はどのような貢献をしているか？」 などをキーワードにし、性格心理学を概観する。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 大貫敬一・佐々木正宏(編著) パーソナリティの心理学 福村出版 野口京子(著) 性格心理学 明星大学出版部 青柳肇・杉山憲司(編著) パーソナリティ形成の心理学 福村出版</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 性格の定義 2) 性格の捉え方: 類型論と特性論の各論 3) 各学派における性格の理解: 精神分析的・現象学的・行動論的 4) 性格の形成と発達 5) 性格における健常と異常の様相; 人格障害とその治療 	
<p>【評価方法】 筆記試験</p>	

【授業科目】 精神生理学

【担当者】 多喜乃 亮介

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

意識を作り上げる脳の活動と、その脳活動を反映する身体反応を題材として、心と脳の関係について理解を深める。この講義では、実験研究の紹介を中心として、脳の活動が私たちの生活のさまざまな場面でどのように関わっているのかを学んでいく。

【テキスト】 特に指定しない

【参考書】 宮田 洋, 『新生理心理学』, 北大路書房, 1998
J. L. アンドレアッシ, 『心理生理学』, ナカニシヤ出版, 1985
J. ハセツト, 『精神生理学入門』, 東京大学出版会, 1987

授 業 計 画

基本的に人を対象とした実験例を中心に、心と体の関係について学習する。
まず精神活動の基盤となる「意識」を司る脳の働きと体の反応について学習する。ここでは睡眠に関連する研究、を紹介する。次に、「感情・情動」に関連する脳の働きと体の反応について学習する。体の末梢に見られる自律神経系の反応、表情の変化、脳内の変化、といったことに関連する研究を紹介する。最後に、高次脳機能研究の例として、「注意、記憶、学習」などに関連した研究を紹介する。

以下の項目に従って進める。

1. 心と体を結ぶ神経系の働き
中枢神経系と末梢神経系
体性神経系と自律神経系
2. 意識を司る脳の働き
睡眠・覚醒中枢
分割脳研究
失語, 失認, 失行
3. 感情・情動と関わりの深い脳の働き
末梢の自律神経系の反応
本能行動
条件情動反応
表情研究
感情障害, 薬物中毒, 前頭葉損傷
4. 高次脳機能研究
測定方法 (EEG, MEG, PET, MRI, fMRI)
注意
記憶
学習

【評価方法】

筆記試験

【授業科目】 心理検査法	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">心理検査法の基礎知識及び 各種心理検査の実施における技術の習得</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">花沢成一 他(著) 心理検査の理論と実際</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 心理検査の歴史: 心理検査の目的とその意義 2) 心理検査の理論: 信頼性・妥当性の問題, 心理検査実施上の注意点 3) 各種心理検査法の紹介: 質問し法・投影法・作業検査法 4) 各種心理検査法の実施とその解釈 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験とレポート</p>	

【授業科目名】 カウンセリング	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期（心理学科）	
<p>【授業目標】</p> <p>話し合い療法としての、カウンセリングの役割について紹介します。 カウンセリングの領域で最もポピュラーな、ロジャースのカウンセリングを中心として紹介します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：内山，高野，田畑 「講座サイコセラピー1：カウンセリング」日本文化科学社 指定図書：割り当てられた週に利用して下さい。 図書館に指定図書を何種類か、用意してあります。 1週間借り出して、簡単な内容紹介と、感想文をレポート1枚程度にまとめて出して頂きます。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの役割 悩む人と、悩ますもの（ストレッサー）について。 2. カウンセリング，心理療法の流れ 3. カウンセリングの基本的立場の紹介 科学的アプローチと現象学的アプローチ 4. カウンセリングの進め方 VTR 5. 来談者中心カウンセリング概説(1) 来談者中心カウンセリングの特徴 6. 同 (2) Rogersの適応論と人格論 7. 同 (3) Rogersの治療論 「受容」を中心に 8. 同 (4) 来談者中心カウンセリングの方法 9. カウンセリングの倫理 10. 応答訓練 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点，中間試験，レポートで評価します。</p>	

【授業科目】 児童相談	【担当者】 神田信彦
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>子どもの不適應の原因を理解する視点を持ち、相談を上での方法、進め方や相談担当者に求められる資質等について理解する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>金子・神田・倉澤著「最後まで読める心理学」ブレーン出版</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 非行の動向 2. 非行理論（1）社会学的理論 3. 非行理論（2）心理学的理論・精神力動的理論 3. 非行の背景要因（1）－非行少年の認知と行動－ 4. 非行の背景要因（2）－家庭・学校・社会・文化－ 6. 非行のメカニズム（1）－盗みの心理－ 7. 非行のメカニズム（2）－暴力非行の心理－ 8. 非行のメカニズム（3）－暴力非行の心理－ 9. 非行のメカニズム（4）－薬物乱用の心理－ 10. 非行のメカニズム（5）－特異な事例の理解は可能か？－ 11. まとめ 12. 試験 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と小レポート。出席重視。</p>	

【授業科目名】 心理療法	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
<p>【授業目標】 今日の代表的な心理療法の方法として、行動療法と認知行動療法の理論と方法について紹介します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキスト：「カウンセリング」と同じ 指定図書：割り当てられた週に利用して下さい。 図書館に指定図書を何種類か、用意してあります。 1週間借り出して、簡単な内容紹介と、感想文をレポート1枚程度にまとめて出して頂きます。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの流れと行動論的アプローチ 2. 行動療法の特徴 3. 行動療法と受理面接 4. 行動療法のアウトライン VTR利用 5. 行動療法の技術(1) 系統的脱感作 6. 同 (2) フラッディング 7. 同 (3) モデリング 8. 同 (4) 強化技法 9. 同 (5) 10. 同 (6) アサーション訓練 11. 認知行動療法の技術(1)：認知行動療法とは 12. 同 (2)：Beckの立場を中心に 13. 同 (3)：Ellisの立場を中心に 14. 同 (4)：認知行動療法の技術(1) 15. 同 (5)：同 (2) 	
<p>【評価方法】 平常点，中間試験，レポート</p>	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
【授業目標】 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。また、身振りや表情など、非言語的な情報の伝達についても学びます。	
【テキスト】 【参考書】 特に指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. 非言語的コミュニケーション(第3日) <ul style="list-style-type: none"> さまざまな非言語的コミュニケーション 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 	
【評価方法】 マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

【授業科目】 非行の心理学	【担当者】 神田信彦
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>反社会的行動としての非行を心理学的にとらえ直し、非行行為が生起するまでの個人内の心理的メカニズムや、環境としての対人関係や社会・文化の問題点をとらえる視点を養う。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 最近の子どもたちの不適応行動 2. 心の発達と不適応行動（1）－幼児期・学童期の問題（1）－ 3. 心の発達と不適応行動（2）－幼児期・学童期の問題（2）－ 4. 心の発達と不適応行動（3）－思春期の問題（1）－ 5. 心の発達と不適応行動（4）－思春期の問題（2）－ 6. 不適応行動の理解の方法 7. 相談の進め方（1）－インタビューから相談開始まで－ 8. 相談の進め方（1）－相談担当者の心構え－ 9. 遊戯療法（1）－遊戯療法の意味とその種類－ 10. 遊戯療法（2）－箱庭療法－ 11. まとめ 12. 試験 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と小レポート。出席重視</p>	

【授業科目】 障害児心理学	【担当者】 山田寿子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>障害児の指導法の基礎となる知識及び基本的考え方を学び、色々な障害の特性及び指導法を知ること为目标とする。</p>	
<p>【テキスト】 てんかんの障害って何？</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>障害児の行動を的確に把握し、事実間の相互関係を明らかにし、その原因を考えることが正しい治療的指導法に通ずる。障害児に対する科学的理解と実践のための基礎的知見を体系的に考えることが障害児心理学の目的である。障害児の有する問題行動やその原因の捉え方及び治療方法について述べる。</p> <p>授業は以下の項目にそって進める。</p> <p>§ 障害の定義</p> <p>第1章 障害児心理学の目的・課題</p> <p>第2章 診断とテスト</p> <p>第3章 障害の医学・生理学的基礎</p> <p>第4章 障害各論</p> <p>第1節 視覚障害</p> <p>第2節 聴覚障害</p> <p>第3節 肢体不自由</p> <p>第4節 知的障害</p> <p>第5節 自閉症</p> <p>第6節 言語障害</p> <p>第7節 学習障害</p> <p>第8節 重症心身障害</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 健康心理学	【担当者】 安田朝子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康心理学では、身体的・心理的・社会的な側面から人の健康について考えます。本講座では、健康心理学の研究などから得られた知見を基に、健康とは何かについて考え、それを日常に生かしていく態度を身に付けることを目指します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキスト、資料等は、適宜作成して配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>大まかな計画は以下の通りですが、多少の変更はあり得ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康心理学とは <ul style="list-style-type: none"> 健康心理学誕生の背景 健康心理学の課題 ・ストレスについて <ul style="list-style-type: none"> ストレスとその作用 ストレスと健康 ・性格と特定の疾患との関連性 <ul style="list-style-type: none"> コーピング研究概説 性格と疾患 ～心疾患、癌を中心として～ ・ライフスタイルと健康 <ul style="list-style-type: none"> 嗜好と健康 食行動の異常 ・健康を考える <ul style="list-style-type: none"> ふたたび健康とは何か いかにして「健康」は成り立つか 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験の結果を主とし、他に、平常の授業態度と授業中に課すレポートによって評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学特講I	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学特講として、交流分析の実際について紹介します。 交流分析は、いわば精神分析の簡易版として知られており、対人関係訓練にも使われています。 心のからくり、対人関係の持ち方について、考えてみましょう。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：なし 指定図書：割り当てられた週に利用して下さい。 図書館に指定図書を何種類か、用意してあります。 1週間借り出して、簡単な内容紹介と、感想文をレポート1枚程度にまとめて出して頂きます。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神分析と交流分析 2. 交流分析のあらまし 3. 自我の構造分析(1) エネルギー充当の対象 Critical Parent, Nurturing Parent Adult Free Child, Adapted Child 4. 同 (2)：排除, その他 5. 同 (3)：エゴグラム 6. 交流様式(人間関係の持ち方)の分析(1) 相補的交流, 交差交流, 裏面交流 7. 同 (2) 交流の動機—ストローク, 時間の構造化 8. 同 (3) 自己と他者への基本的関係 9. 自我状態の分析と適応上の問題 10. ゲーム分析(1)：ゲームについて 適応上の問題をもたらす行動様式) 11. ゲーム分析(2)：ラケットとデイスカウト 12. 脚本分析(1)：脚本(反復強迫)の意味 13. 脚本分析(2)：脚本のタイプと禁止令 14. 脚本分析(3)：脚本からの脱出 (分かりやすいVTRがありますので、基本的にはVTR使った授業になります) 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点, 中間試験, レポートで評価します。</p>	

【授業科目】 心理学特講II	【担当者】 伊藤典幸
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 <p>今後自らが社会生活の中で遭遇するであろう問題解決場面で心理学が いかに有効かを知るとともに、現実の場面でこれまで学んだ心理学の 知識を効果的に活用しうる能力を身につけることを目標とする。</p>	
【テキスト】 <p>必要に応じプリントを配布</p>	
【参考書】 <p>必要に応じ随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した 後、下記のテーマについてより掘り下げた解説を行っていく。</p> <p>1. 居住空間の設計 応用的な見地から現実の空間の中での人間の行動についての実験例、 実例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行 なっていく。また、その目的に応じた心地好い空間を作り出すには、 どのような設計をするべきかを応用心理学的な見地から考えていく。</p> <p>2. 企業向け教育訓練プログラムの体験 米国大手エアラインでコックピットクルーのトレーニング用に開発 され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されてい るコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここで は、このプログラム自体の意義を考えると同時に、トレーニングプロ グラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。</p> <p>3. 事故とヒューマンエラー 航空機事故、工場事故その他の事例をとりあげ、事故原因における ヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマン・マシ ン・インターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラ ーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識してい く。</p>	
【評価方法】 <p style="text-align: center;">レポート</p>	

【授業科目】 精神保健	【担当者】 青田洋一
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】 ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』（紀伊國屋書店）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>おおよそ以下の項目にそって進める。</p> <p>①総論…精神障害とは？ 予防とは？</p> <p>②基本的用語の理解 不安, 恐怖, 強迫, 離人, 心気, 抑うつ, 躁, 幻覚, 妄想, せん妄 もうろう, 憑依, 痴呆, 健忘, e t c</p> <p>③精神障害の分類</p> <p>④精神分裂病</p> <p>⑤躁うつ病</p> <p>⑥神経症</p> <p>⑦その他の精神障害</p> <p>⑧精神障害の治療</p> <p>⑨精神障害と責任能力</p> <p>⑩精神医療の現状と問題点</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">定期試験 (テスト)</p>	

【授業科目】 精神医学	【担当者】 座間味宗和
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>① 精神医学の歴史的な変遷を講ずる。 ② 正常と病態心理の理解を深める。 ③ 精神障害の分類を概説する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>① 心の医学 柏瀬宏隆著 朝倉書店 ② 精神神経科 柏瀬宏隆著 朝倉書店</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>精神医学という言葉は、きわめて古く、ライル (J. C. Reil) が1808年に初めて使用したと考えられている。そして、多角的な研究によって近年の精神医学は人間関係を明らかにする医学の一つとして理解されるようになってきた。とりわけ、昨今の科学研究の進歩は著しく、精神医学や心理学そして精神病理学などの領域が広くなり、対象も拡大化してきた。したがって、本講においては、歴史的な変遷、内因性、外因性、心因性などの精神障害を大別し、その成因論、診断論、治療論そして昨今の予防論について概説すると共に、可視的方法で理解を深めたい。</p>	
<p>【評価方法】</p>	

司書科目（2年）

【授業科目名】 図書館サービス論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する社会機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>(1) 図書館サービスの意義と理念</p> <p>(2) 公共図書館におけるサービス</p> <p>(3) サービスの種類と方法 資料提供 読書案内 情報サービス 複写サービス 教育・文化活動</p> <p>(4) 利用対象者別サービス 児童 青少年 一般成人 高齢者 障害者 アウトリーチサービス 多文化サービス</p> <p>(5) 館種別図書館サービス</p> <p>(6) 図書館協力</p> <p>(7) 図書館サービスと著作権</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 情報サービス概説	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結びつけ、人々の研究・学習を援助することである。近年、情報サービスという語が広範囲に使われているが、図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報サービス等について総合的に学習する。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスとは何か</p> <p>(2) 情報サービスの歴史と現状</p> <p>(3) 情報サービスの構造と機能 図書館機能と情報サービス機能 高度情報社会と情報サービス</p> <p>(3) 情報サービスの種類 直接的サービス 間接的サービス 協力ネットワークの形成</p> <p>(4) 情報検索とサービスの展開 情報検索の定義と種類 オンライン書誌情報検索 図書館における情報検索サービスの展開</p> <p>(5) 情報サービスの管理と資源 サービス方針と関連法規 担当職員の専門性と養成 情報源の種類と組織化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする	
【テキスト】 『情報源としての レファレンスブックス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995 『問題解決のための レファレンスサービス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>(1) レファレンスプロセスの実際</p> <p>(2) 情報探索の方法 レファレンスインタビュー 質問の分析から情報(源)の提供まで</p> <p>(3) 情報源の種類と特性</p> <p>(4) 参考図書とレファレンスコレクション</p> <p>(5) 電子メディアの活用</p> <p>(6) 二次資料の作成</p>	
【評価方法】 授業時の演習レポートと期末レポート	

【授業科目】 専門資料論	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『専門資料論』戸田光昭ほか 樹村房 1998 (新・叢書シリーズ)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) 専門分野の特性 人文科学、社会科学、自然科学等、各専門分野の概念と特性</p> <p>(2) 各専門分野の資料の特性と種類 人文科学情報 社会科学情報 自然科学技術情報 工学・工業技術情報</p> <p>(3) 主要な一次資料と二次資料</p> <p>(4) 専門資料とメディアの多様化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 資料特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年 前期(前半)	
【授業目標】 印刷資料、視聴覚資料、デジタル資料等、図書館資料がもつ特質と役割を理解し、利用のために必要な機器操作等の技能を習得する。	
【テキスト】 な し	
【参考書】 『資料特論』(新・現代図書館学講座14) 東京 東京書籍 1998 『図書館資料論』(新編 図書館学教育資料集成5) 東京 教育史料出版会 1998	
授 業 計 画	
<p>図書館資料には、郷土資料と行政資料、印刷資料と視聴覚資料等、その資料が有する役割と特性がある。それぞれの特性を理解した上で、効果的なライブラリーの運用方法とレファレンス・ワークについて考える。また、自主資料制作のために必要な撮影技術や編集技能を習得する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料のもつ役割と特性 2. 図書館資料の多様化と特色ある運用 3. 実習：視聴覚資料の制作 <ul style="list-style-type: none"> 8mmビデオ撮影 ビデオ編集 	
【評価方法】 レポート/制作資料	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。また、身振りや表情など、非言語的な情報の伝達についても学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しません。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 態度変容(第1日)</p> <p style="padding-left: 2em;">態度と説得的コミュニケーション</p> <p style="padding-left: 2em;">説得への抵抗とリアクタンス理論</p> <p>2. 承諾誘導(第2日)</p> <p style="padding-left: 2em;">社会的勢力</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな承諾誘導技法</p> <p>3. 非言語的コミュニケーション(第3日)</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな非言語的コミュニケーション</p> <p style="padding-left: 2em;">言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)</p>	

【授業科目】 図書館特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年 前期(後半)	
【授業目標】 学習形態が多様化している今日において、図書館が収集提供する資料—特に視聴覚資料を中心として—その特性と、運用方法について習得する。また、メディア・スペシャリストの資質について考察する。	
【テキスト】 な し	
【参考書】 『図書館サービス論』(新編 図書館学教育資料集成3) 東京 教育史料出版会 1998 『情報サービス概説』(JLA図書館学情報学テキストシリーズ4) 東京 日本図書館協会 1997	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今日の図書館が収集提供すべき資料の種類と特性について理解する。 ・図書館資料を活用するために必要な機器の特性と操作技能を学習する。 ・メディア・ライブラリアンの資質とレファレンス・サービスについて考察する。 <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の特徴と資料 2. 視聴覚ライブラリーの役割と運用 3. 視聴覚機器の特性と操作 4. 司書とメディア・ライブラリアン 	
【評価方法】 レポート等	

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
教務課042(346)5619